

はじめに

本書は、保土ヶ谷区に関する基礎的な統計データを紹介したものです。

各種統計データから、保土ヶ谷区の現状や移り変わりについてご紹介させていただくことで、様々な顔を持つ保土ヶ谷区に興味をお持ちいただき、区政への関心をより深めていただければ幸いです。

最後に、発刊にあたりまして、貴重な資料を提供していただきました関係諸機関の皆様には厚くお礼申し上げます。

令和 8 年 保土ヶ谷区

も く じ

区の主な特徴	1
区の主な指標	2
区の統計データ	3
1 土地	3
2 人口	4
◎目で見える保土ヶ谷区の特徴	9
3 地域経済（事業所 / 製造業 / 商業 / 農業）	12
4 生活環境（公園 / 住宅 / 交通 / ごみ・大気・河川 / 消防・警察 / 医療 / 衛生）	16
5 福祉保健（生活保護 / 障害者・介護保険・高齢者 / こども家庭）	23
6 保険・年金	26
7 教育	27
8 市税	28
9 市民利用施設	29
10 市・区政相談	30
11 戸籍	30
12 選挙	31
13 地域社会	33
14 防災	33
区の出来事&世の中の動き	34
いろいろな統計調査	

「へそ」？

統計で知るほどがやの副題として「へそ」その意味は…
横浜市の地理的な中心が、保土ヶ谷区にあることから「へそ」と命名しました。

(注) 構成比等の算出については、小数点以下2位または3位を四捨五入しているため、必ずしも合計に一致しない場合があります。

区の主な特徴

市内で最初の区として誕生

保土ヶ谷区は、江戸時代には宿場町として、開港後は近代水道や工業の中心地として栄えてきました。昭和2年(1927年)10月1日の区制施行で、鶴見区、神奈川区、中区、磯子区とともに誕生した保土ヶ谷区。令和9年(2027年)には、区制100周年を迎えます。

保土ヶ谷区ってどんな区？

保土ヶ谷区は、全市18区の中で人口や面積をはじめ様々な点で中位に位置しており、横浜の平均的な地域と言えます。また、市の中心点も保土ヶ谷区内に位置しています。

◆人口が横浜市第9位

保土ヶ谷区の人口は、205,493人で、市内18区中9位となっています。1位は港北区の367,540人で、18位は西区の108,556人です。(令和7年10月1日現在)

◆老年人口比率が横浜市内第8位

保土ヶ谷区の老年人口比率は27.1%で、市内18区中8位となっています。1位は栄区の31.5%で、18位は西区の19.2%です。(令和7年1月1日現在)

◆昼夜人口比率が横浜市内第9位

保土ヶ谷区の昼夜人口比率は、84.1%で、市内18区中9位となっています。1位は西区の190.2%で、18位は泉区の78.7%です。(令和2年国勢調査)

◆出生数が横浜市内第9位

保土ヶ谷区の出生数は、1,109人で、市内18区中9位となっています。1位は港北区の2,855人で、18位は栄区の681人です。(令和6年)

◆緑被率が横浜市内第9位

保土ヶ谷区の緑被率は、29.4%で、市内18区中9位となっています。1位は緑区の40.6%で、18位は西区の11.3%です。(令和元年度)

保土ヶ谷区マスコット ほどぴー



令和9年に迎える区制100周年を記念し、区公式マスコットキャラクターのデザインを公募しました。

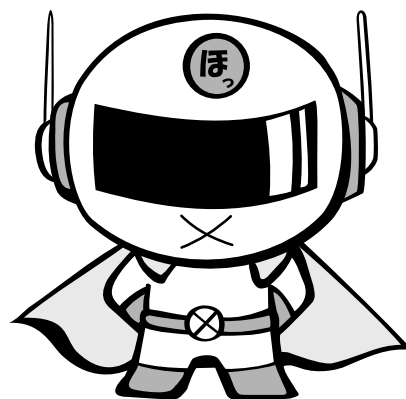
362作品のデザイン案の中から、区民のみなさんによる投票の結果、令和7年1月にデザインが決定しました。

【ほどぴーの特徴】

区の鳥であるカルガモをモチーフに採用し、宿場町としての歴史をイメージした角笠と羽織の衣装としました。

区のイメージカラー『ほ도가やグリーン』の羽織の胸元には区のマークを、袖には区の花であるすみれをイメージした模様をデザインしています。

統計便覧キャラクター



保土ヶ谷区統計便覧のマスコット「ほっと」です。

主に、9ページから11ページで保土ヶ谷区の紹介をします。

区の主な指標

区分	保土ヶ谷区	横浜市	基準日	18区中順位
世帯数	103,053世帯	1,838,206世帯	R7,10,1	8位
人口	205,493人	3,772,267人	R7,10,1	9位
面積	21.93km ²	438.23km ²	R7,10,1	12位
市街化区域率	78.5%	77.4%	R6年度末	10位
人口密度	9,370人/km ²	8,608人/km ²	R7,10,1	6位
1世帯あたり人員	1.99人	2.05人	R7,10,1	12位
平均年齢	48.16歳	47.34歳	R7,1,1	8位
年少人口比率	10.3%	11.2%	R7,1,1	15位
老年人口比率	27.1%	25.5%	R7,1,1	8位
昼夜人口比率	84.1%	92.5%	R2年	9位
出生数	1,109人	22,137人	R6年	9位
事業所数	4,888事業所	116,479事業所	R3,6,1	13位
事業所従業者数	52,383人	1,527,783人	R3,6,1	12位
製造業事業所数	61事業所	2,286事業所	R3,6,1	12位
製造業従業者数	1,480人	89,055人	R3,6,1	13位
卸売業事業所数	156事業所	4,905事業所	R3,6,1	11位
卸売業従業者数	1,704人	68,348人	R3,6,1	10位
小売業事業所数	590事業所	14,340事業所	R3,6,1	13位
小売業従業者数	5,766人	168,665人	R3,6,1	14位
人口10万人比病床数	614.3床	751.8床	R7,3,31	11位
緑被率	29.4%	27.8%	R1年度	9位
一人あたり公園面積	4.9m ²	5.0m ²	R7,3,31	7位
市税収入	35,553百万円	893,708百万円	R6年度	10位

※「18区中順位」は、降順(数値が大きい順。18区中で、上位から数えて何位になっているか)で表示しています。

区の統計データ

1 土地

○保土ヶ谷区の位置



保土ヶ谷区は、横浜市の中央に位置し、東西に5.80km、南北に7.40kmあり、また、起伏に富んだ地形で山坂が多く、最高地は今井町で海拔97.0mとなっています。

○保土ヶ谷区の地図



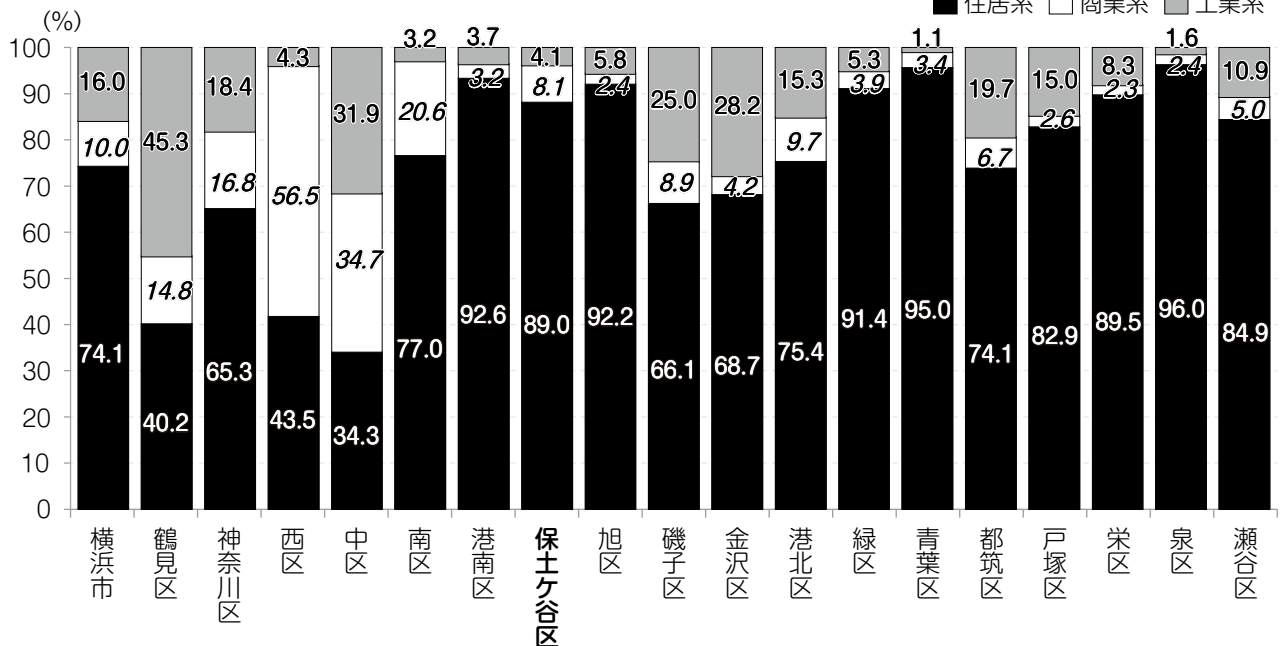
○世帯数と人口(区別) (令和7年10月1日現在推計)

区分	世帯数	人口			1世帯 当たり 人員	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
		総数	男	女			
横浜市	1,838,206	3,772,267	1,858,731	1,913,536	2.05	438.23	8,608
鶴見区	153,231	298,819	154,232	144,587	1.95	33.21	8,998
神奈川区	138,741	253,868	129,039	124,829	1.83	23.73	10,698
西区	61,417	108,556	54,884	53,672	1.77	7.03	15,442
中区	91,026	154,403	78,405	75,998	1.70	22.01	7,015
南区	110,690	199,933	99,448	100,485	1.81	12.65	15,805
港南区	98,289	211,266	102,481	108,785	2.15	19.90	10,616
保土ヶ谷区	103,053	205,493	100,705	104,788	1.99	21.93	9,370
旭区	109,840	239,850	115,249	124,601	2.18	32.73	7,328
磯子区	80,934	163,914	80,655	83,259	2.03	19.02	8,618
金沢区	91,545	192,492	93,305	99,187	2.10	30.95	6,219
港北区	185,945	367,540	183,137	184,403	1.98	31.40	11,705
緑区	83,326	182,356	89,385	92,971	2.19	25.51	7,148
青葉区	137,813	307,023	147,634	159,389	2.23	35.22	8,717
都筑区	90,027	214,178	104,402	109,776	2.38	27.87	7,685
戸塚区	127,166	281,768	137,033	144,735	2.22	35.79	7,873
栄区	54,952	119,820	58,036	61,784	2.18	18.52	6,470
泉区	65,194	150,101	72,445	77,656	2.30	23.58	6,366
瀬谷区	55,017	120,887	58,256	62,631	2.20	17.17	7,041

資料：横浜市統計情報ポータル

1 土地

○市街化区域用途地域別割合(区別) (令和7年3月末現在)



※四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

資料：横浜市統計情報ポータル

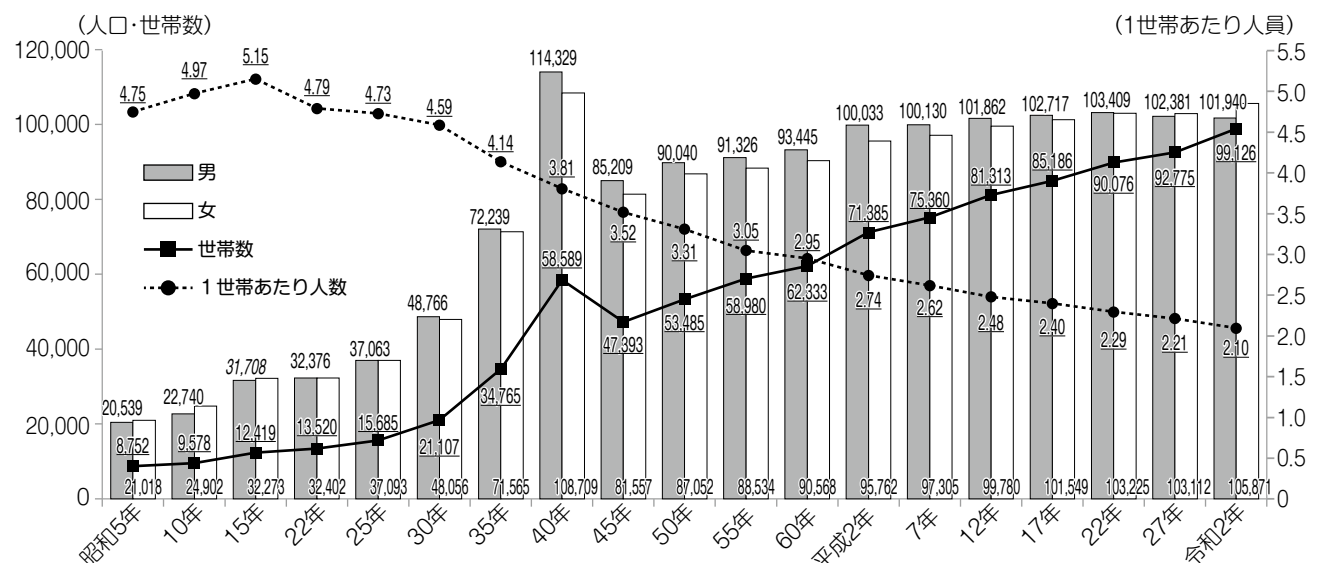
○住宅地平均公示価格(区別) (令和7年1月1日現在)

区名	平均価格(円/m ²)	区名	平均価格(円/m ²)	区名	平均価格(円/m ²)
鶴見区	299,200	保土ヶ谷区	210,800	青葉区	325,700
神奈川区	322,300	旭区	203,600	都筑区	305,400
西区	392,700	磯子区	200,000	戸塚区	210,900
中区	386,100	金沢区	192,500	栄区	182,300
南区	241,800	港北区	348,900	泉区	222,200
港南区	216,800	緑区	233,700	瀬谷区	188,600

資料：横浜市統計情報ポータル

2 人口

○人口の歩み(各年10月1日現在)

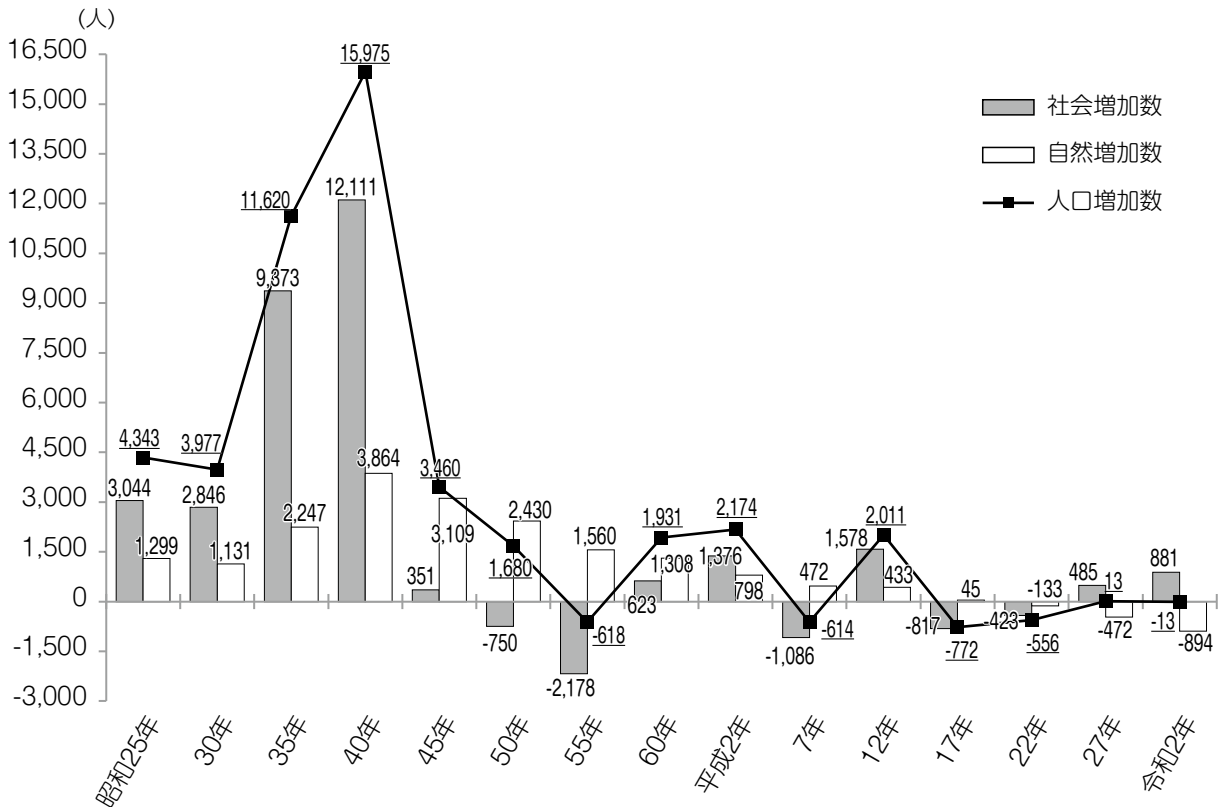


※昭和20年国勢調査は中止され、昭和22年に臨時国勢調査が実施されています。
 ※昭和44年に保土ヶ谷区から旭区が分区しています。

資料：国勢調査

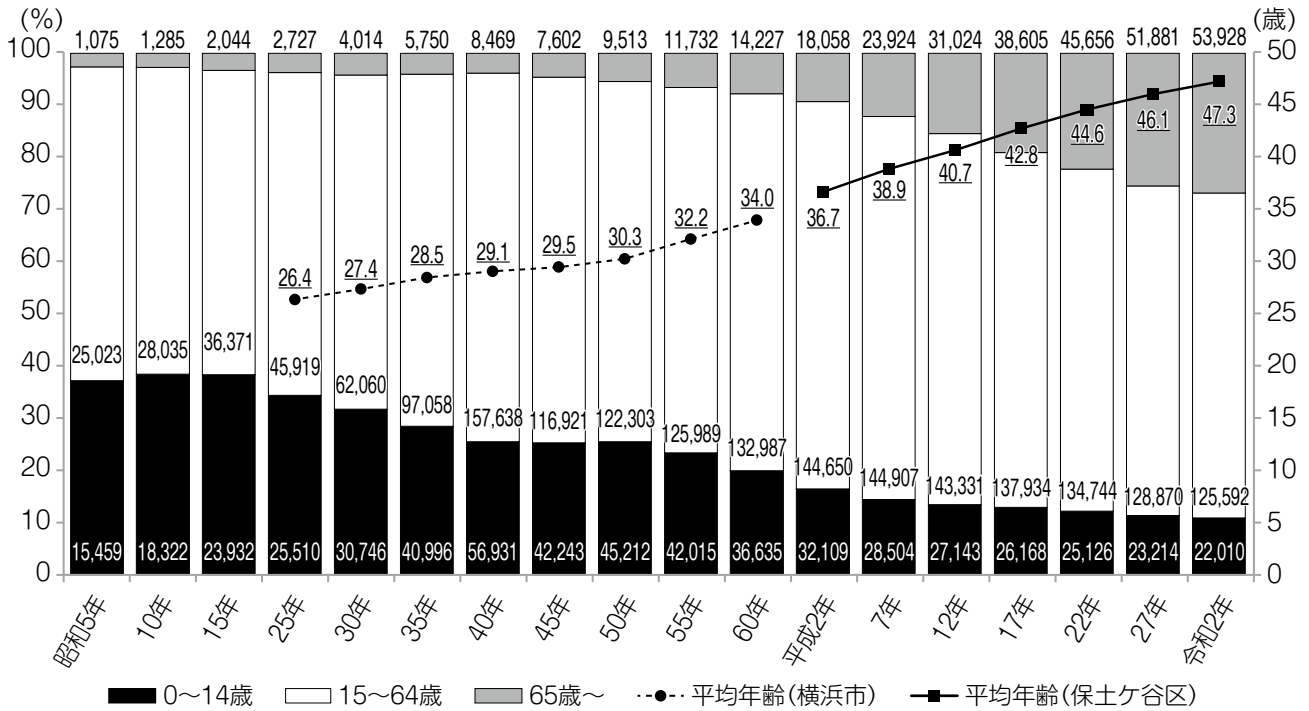
2人口

人口動態



資料：横浜市統計情報ポータル

人口構成(三区)の推移



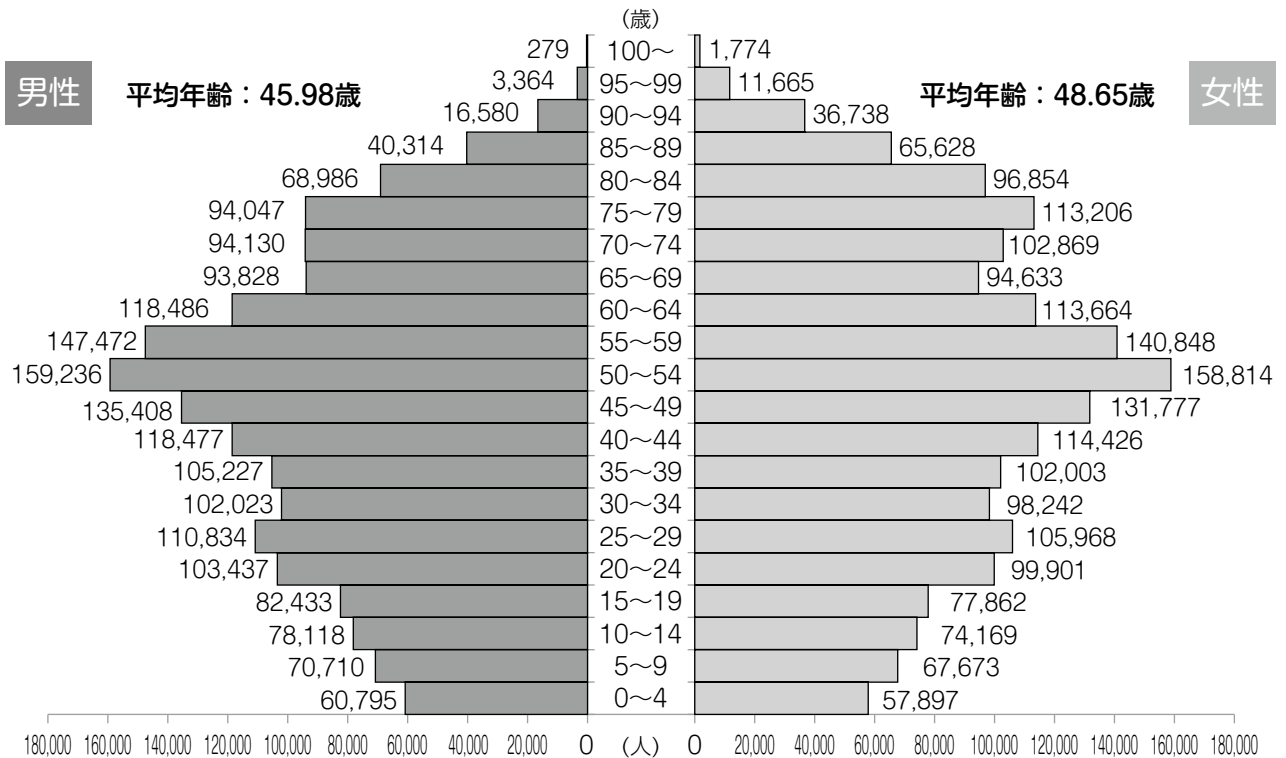
※昭和22年臨時国勢調査を除く。
 ※昭和15年の年齢別集計は内地人のみの人口です。
 ※年齢不詳者は数値に含んでいません。
 ※昭和15年以前の平均年齢の集計はありません。また、昭和25年から昭和60年の平均年齢は横浜市の数値です。

資料：国勢調査

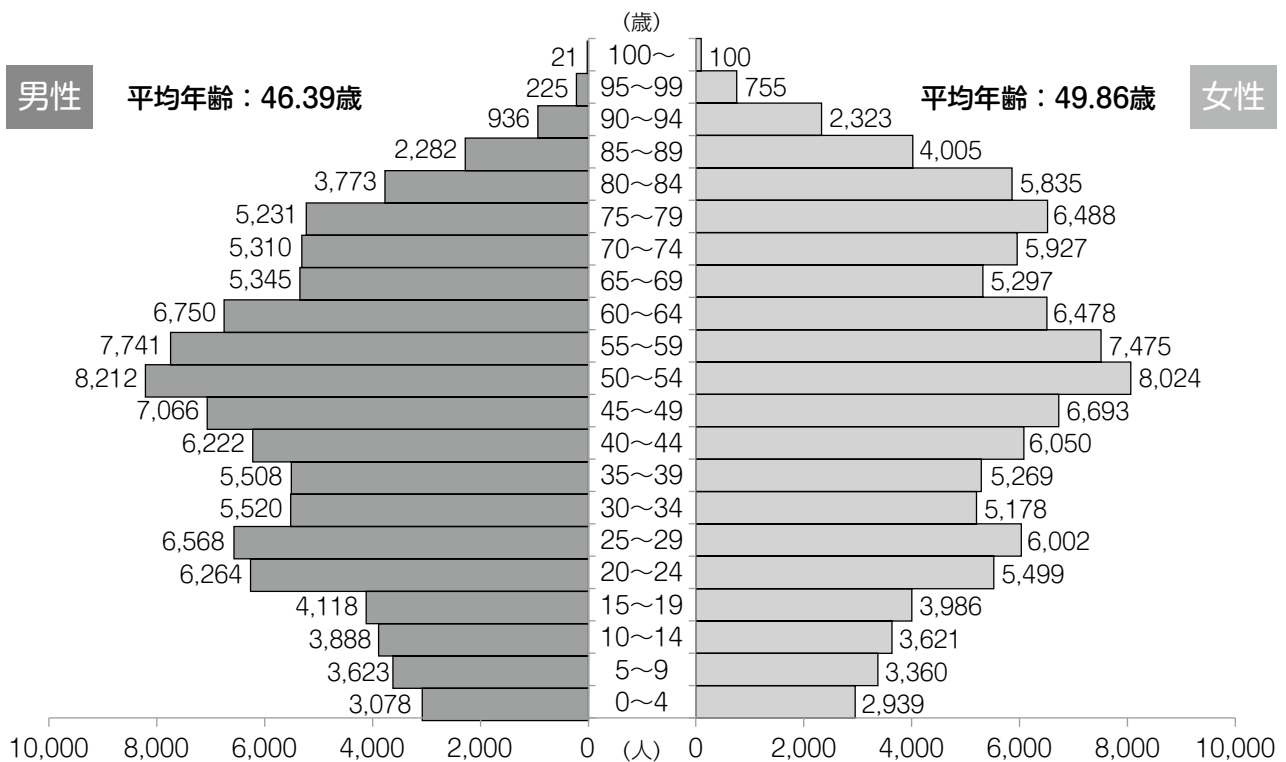
2人口

○ 5歳階級別人口構成(令和7年1月1日現在)

■ 横浜市



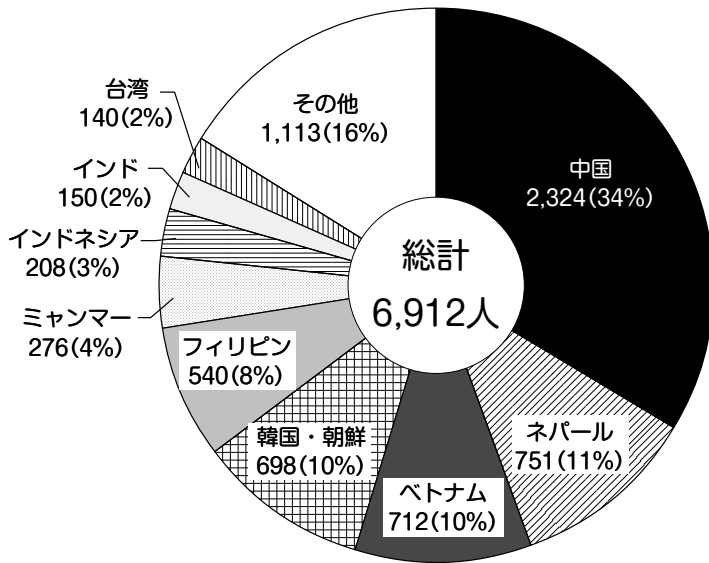
■ 保土ヶ谷区



資料：横浜市統計情報ポータル

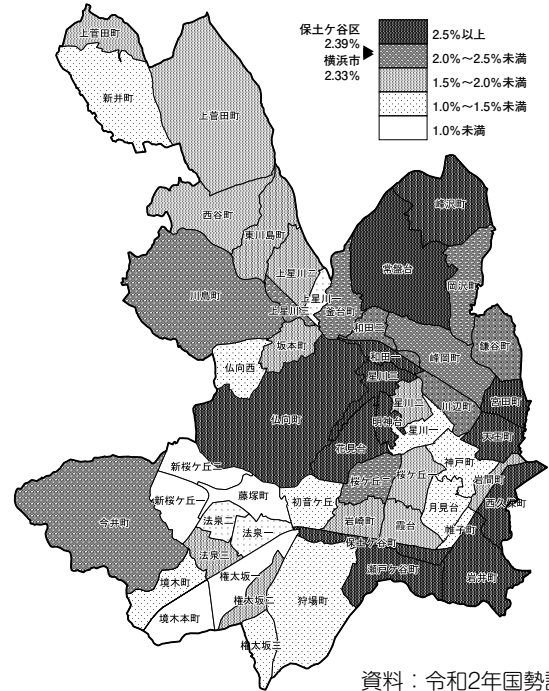
2 人 口

○国籍別外国人人数内訳(令和7年3月末)



資料：横浜市統計情報ポータル

○町別外国人人口割合



資料：令和2年国勢調査

○国勢調査集計結果概要

区 分		平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
総	人 □	201,642人	204,266人	206,634人	205,493人	207,811人
男	性 人 □	101,862人	102,717人	103,409人	102,381人	101,940人
女	性 人 □	99,780人	101,549人	103,225人	103,112人	105,871人
夜	間 人 □(常住人口)	201,498人	202,707人	206,634人	205,493人	207,811人
昼	間 人 □	162,702人	164,348人	173,514人	174,863人	174,848人
昼	夜 間 人 □ 比率	80.7%	81.1%	84.0%	85.1%	84.1%
外	国 人 人 □	2,038人	2,666人	3,025人	3,791人	4,975人
平	均 年 齢	40.7歳	42.8歳	44.6歳	46.1歳	47.3歳
男	性 平 均 年 齢	39.5歳	41.5歳	43.0歳	44.4歳	45.6歳
女	性 平 均 年 齢	42.0歳	44.1歳	46.1歳	47.7歳	49.0歳
年 齢 別 割 合	0～14歳	13.5%	12.8%	12.2%	11.4%	10.9%
	15～64歳	71.1%	67.5%	65.6%	63.2%	62.3%
	65歳以上	15.4%	18.9%	22.2%	25.4%	26.8%
世	帯 数	81,313世帯	85,186世帯	90,076世帯	92,775世帯	99,126世帯
65歳以上の親族のいる世帯数		21,689世帯	26,302世帯	30,131世帯	34,193世帯	35,429世帯

資料：国勢調査

2 人 口

○町別面積・世帯数・人口及び人口構成(三分区) (令和7年9月30日現在)

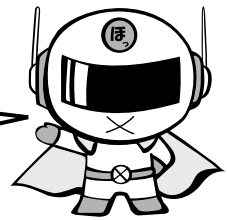
町名	世帯数	人口総数	0～14歳		15～64歳		65歳～		面積 (km ²)
			(人)	(比率)	(人)	(比率)	(人)	(比率)	
保土ヶ谷区合計	106,568	202,882	20,582	10.1%	127,911	63.0%	54,389	26.8%	21.806
新井町	3,108	6,121	513	8.4%	3,537	57.8%	2,071	33.8%	0.785
今井町	2,816	5,732	536	9.4%	3,531	61.6%	1,665	29.0%	1.707
岩井町	3,893	6,905	686	9.9%	4,692	68.0%	1,527	22.1%	0.553
岩崎町	1,334	2,547	209	8.2%	1,486	58.3%	852	33.5%	0.224
岩間町	1,192	1,827	117	6.4%	1,181	64.6%	529	29.0%	0.097
岡沢町	2,068	3,676	354	9.6%	2,575	70.0%	747	20.3%	0.426
霞台	1,396	2,714	289	10.6%	1,773	65.3%	652	24.0%	0.223
帷子町	863	1,496	107	7.2%	1,029	68.8%	360	24.1%	0.060
釜台町	1,913	3,528	346	9.8%	2,341	66.4%	841	23.8%	0.295
鎌谷町	2,212	4,335	422	9.7%	2,835	65.4%	1,078	24.9%	0.329
上菅田町	6,576	13,691	1,773	13.0%	7,999	58.4%	3,919	28.6%	1.886
上星川一丁目	554	995	86	8.6%	721	72.5%	188	18.9%	0.089
上星川二丁目	1,768	3,438	298	8.7%	2,312	67.2%	828	24.1%	0.313
上星川三丁目	1,078	1,997	228	11.4%	1,254	62.8%	515	25.8%	0.098
狩場町	3,376	6,720	533	7.9%	4,015	59.7%	2,172	32.3%	1.005
川島町	4,904	9,056	927	10.2%	5,131	56.7%	2,998	33.1%	1.531
川辺町	2,507	5,548	742	13.4%	3,481	62.7%	1,325	23.9%	0.217
神戸町	943	1,696	147	8.7%	1,064	62.7%	485	28.6%	0.270
権太坂一丁目	1,448	3,061	321	10.5%	1,833	59.9%	907	29.6%	0.338
権太坂二丁目	852	1,929	258	13.4%	1,321	68.5%	350	18.1%	0.177
権太坂三丁目	1,680	3,577	340	9.5%	1,989	55.6%	1,248	34.9%	0.200
境木町	296	621	60	9.7%	313	50.4%	248	39.9%	0.285
境木本町	1,546	3,704	441	11.9%	2,177	58.8%	1,086	29.3%	0.300
坂本町	1,465	2,970	388	13.1%	2,017	67.9%	565	19.0%	0.230
桜ヶ丘一丁目	1,400	2,665	283	10.6%	1,724	64.7%	658	24.7%	0.246
桜ヶ丘二丁目	1,782	3,685	552	15.0%	2,344	63.6%	789	21.4%	0.241
新桜ヶ丘一丁目	1,579	3,266	300	9.2%	1,756	53.8%	1,210	37.0%	0.285
新桜ヶ丘二丁目	1,302	2,718	201	7.4%	1,507	55.4%	1,010	37.2%	0.264
瀬戸ヶ谷町	3,031	5,942	585	9.8%	3,867	65.1%	1,490	25.1%	0.416
月見台	1,477	2,736	278	10.2%	1,718	62.8%	740	27.0%	0.231
天王町	3,409	5,273	413	7.8%	3,564	67.6%	1,296	24.6%	0.237
常盤台	3,306	6,349	654	10.3%	4,385	69.1%	1,310	20.6%	1.105
西久保町	3,056	5,211	441	8.5%	3,622	69.5%	1,148	22.0%	0.275
西谷町	199	345	22	6.4%	222	64.3%	101	29.3%	0.119
西谷一丁目	511	844	43	5.1%	596	70.6%	205	24.3%	0.077
西谷二丁目	826	1,718	211	12.3%	1,052	61.2%	455	26.5%	0.163
西谷三丁目	1,470	2,557	182	7.1%	1,688	66.0%	687	26.9%	0.154
西谷四丁目	917	1,433	113	7.9%	981	68.5%	339	23.7%	0.107
初音ヶ丘	1,529	3,177	361	11.4%	1,925	60.6%	891	28.0%	0.261
花見台	228	424	35	8.3%	202	47.6%	187	44.1%	0.361
東川島町	2,366	4,523	504	11.1%	2,963	65.5%	1,056	23.3%	0.427
藤塚町	740	1,539	146	9.5%	910	59.1%	483	31.4%	0.277
仏向町	6,377	12,464	1,560	12.5%	7,833	62.8%	3,071	24.6%	1.812
仏向西	1,748	3,691	358	9.7%	2,214	60.0%	1,119	30.3%	0.236
法泉一丁目	881	1,933	197	10.2%	1,276	66.0%	460	23.8%	0.177
法泉二丁目	853	1,844	217	11.8%	1,120	60.7%	507	27.5%	0.143
法泉三丁目	1,011	2,060	214	10.4%	1,251	60.7%	595	28.9%	0.183
星川一丁目	1,628	2,716	186	6.8%	1,720	63.3%	810	29.8%	0.179
星川二丁目	969	1,772	176	9.9%	1,055	59.5%	541	30.5%	0.152
星川三丁目	1,264	2,156	191	8.9%	1,390	64.5%	575	26.7%	0.206
保土ヶ谷町	1,440	2,345	219	9.3%	1,651	70.4%	475	20.3%	0.189
峰岡町	3,845	6,703	681	10.2%	4,374	65.3%	1,648	24.6%	0.515
峰沢町	2,126	3,815	373	9.8%	2,300	60.3%	1,142	29.9%	0.553
宮田町	1,701	2,731	232	8.5%	1,899	69.5%	600	22.0%	0.188
明神台	1,292	2,301	225	9.8%	1,473	64.0%	603	26.2%	0.117
和田一丁目	1,371	2,108	140	6.6%	1,465	69.5%	503	23.9%	0.118
和田二丁目	1,146	1,954	168	8.6%	1,257	64.3%	529	27.1%	0.154

※住民基本台帳において字にあたる丁が記載されていないものは表示していません。
このため、町の人口とうち数の合計が一致しない場合があります。

資料：横浜市統計情報ポータル

◎目で見える保土ヶ谷区の特徴

あなたが暮らす保土ヶ谷区の町。どのような特徴があるでしょうか。ここでは、町別の統計データを地図とランキングでご紹介します。



○区内の人口増減(2015年と2025年の比較)

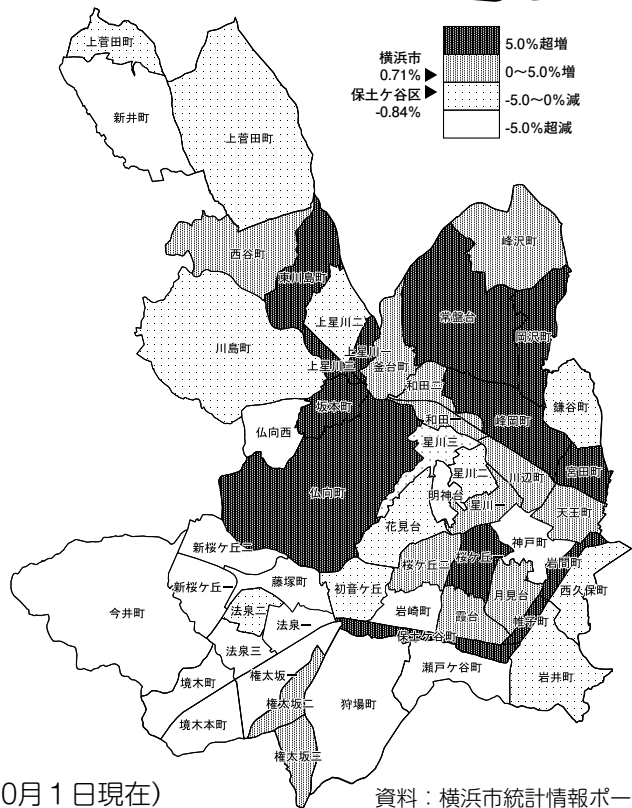
■増加率が高いTOP 5

No.1	上星川三丁目	13.85%
No.2	宮田町	12.94%
No.3	保土ヶ谷町	11.40%
No.4	仏向町	10.48%
No.5	帷子町	9.76%

■減少率が高いTOP 5

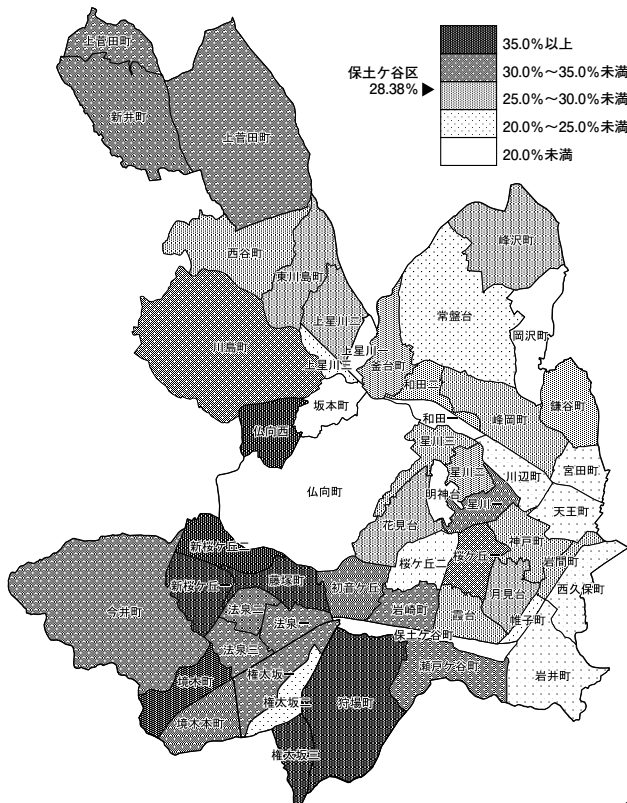
No.1	新井町	-14.26%
No.2	藤塚町	-12.16%
No.3	境木町	-11.79%
No.4	仏向西	-10.76%
No.5	狩場町	-10.14%

※令和2年(2020年)10月に住居表示を実施した西谷一丁目～四丁目は西谷町に含めています。
 ※2015年9月末と2025年9月末を比較した際の増減率。



○区内に20年以上住んでいる人の割合(令和2年10月1日現在)

資料：横浜市統計情報ポータル



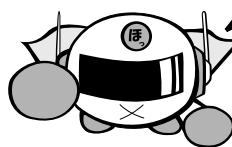
■割合が高いTOP 5

No.1	新桜ヶ丘二丁目	46.54%
No.2	新桜ヶ丘一丁目	43.94%
No.3	仏向西	42.14%
No.4	藤塚町	37.97%
No.5	境木町	37.60%

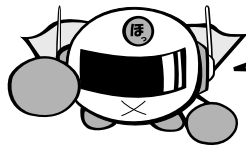
■割合が低いTOP 5

No.1	明神台	8.62%
No.2	坂本町	18.65%
No.3	仏向町	18.88%
No.4	上星川一丁目	19.07%
No.5	保土ヶ谷町	19.33%

人口増減の地図と比較すると、地図の配色が反対になっている町もあります。(例：新桜ヶ丘二丁目や仏向町) 2つの地図を組み合わせることで、いつ頃人口が増えた町なのか読み取ることもできますね。



資料：令和2年国勢調査



ここからは年齢で各町の特徴を見てみましょう。
あなたの町にはどの年齢の人が多いですか？

○0～14歳の人口に占める割合(令和7年9月末現在)

■割合が高いTOP 5

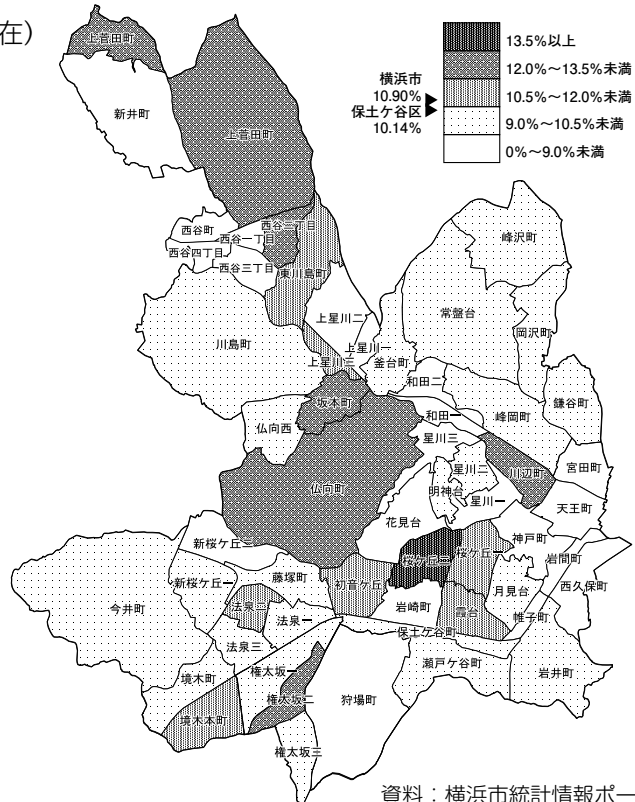
No.1	桜ヶ丘二丁目	14.98%
No.2	権太坂二丁目	13.37%
No.3	川辺町	13.37%
No.4	坂本町	13.06%
No.5	上菅田町	12.95%

■割合が低いTOP 5

No.1	西谷一丁目	5.09%
No.2	西谷町	6.38%
No.3	岩間町	6.40%
No.4	和田一丁目	6.64%
No.5	星川一丁目	6.85%

※住民基本台帳に記載された人口と外国人登録人口の合計によるものです。

※こちらが表紙の地図です。



資料：横浜市統計情報ポータル

○15～64歳の人口に占める割合(令和7年9月末現在)

■割合が高いTOP 5

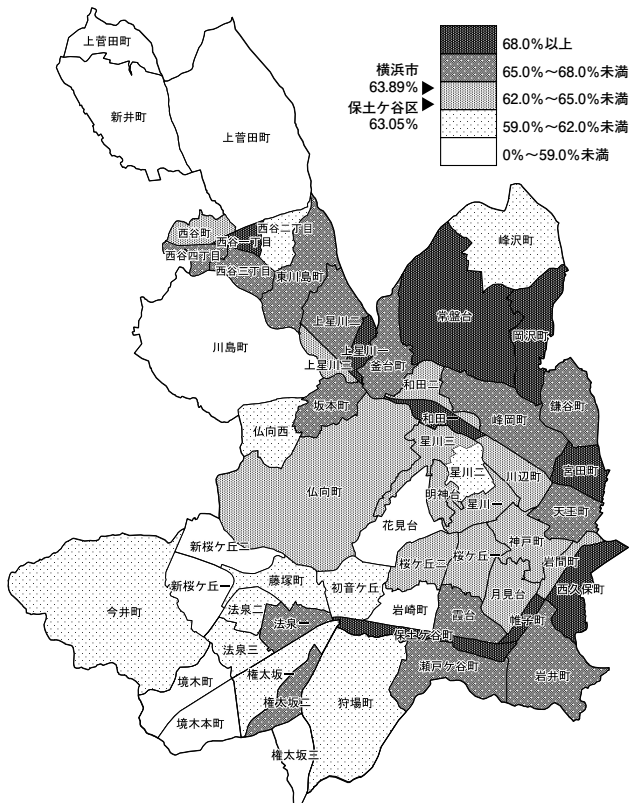
No.1	上星川一丁目	72.46%
No.2	西谷一丁目	70.62%
No.3	保土ヶ谷町	70.41%
No.4	岡沢町	70.05%
No.5	宮田町	69.53%

■割合が低いTOP 5

No.1	花見台	47.64%
No.2	境木町	50.40%
No.3	新桜ヶ丘一丁目	53.77%
No.4	新桜ヶ丘二丁目	55.45%
No.5	権太坂三丁目	55.61%

※住民基本台帳に記載された人口と外国人登録人口の合計によるものです。

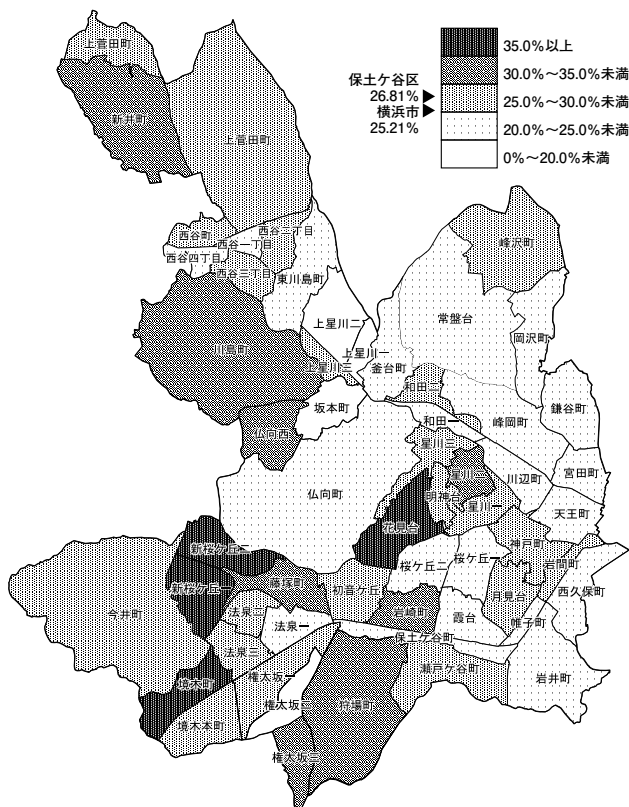
資料：横浜市統計情報ポータル



9～11ページのデータを組み合わせると町ごとの様々な特徴が視えてきます。例えば、9ページ「人口増減」で人口が増えている地域は、11ページで「平均年齢」が低くなっています。最近開発された地域で、子育て世代や働き世代である生産年齢人口が多いと考えられますね。(例：保土ヶ谷町など)



○65歳以上の人口に占める割合(令和7年9月末現在)



■割合が高いTOP 5

No. 1	花見台	44.10%
No. 2	境木町	39.94%
No. 3	新桜ヶ丘一丁目	37.16%
No. 4	新桜ヶ丘二丁目	37.05%
No. 5	権太坂三丁目	34.89%

■割合が低いTOP 5

No. 1	権太坂二丁目	18.14%
No. 2	上星川一丁目	18.89%
No. 3	坂本町	19.02%
No. 4	保土ヶ谷町	20.26%
No. 5	岡沢町	20.32%

※住民基本台帳に記載された人口と外国人登録人口の合計によるものです。

資料：横浜市統計情報ポータル

○町別の平均年齢(令和7年9月末現在)

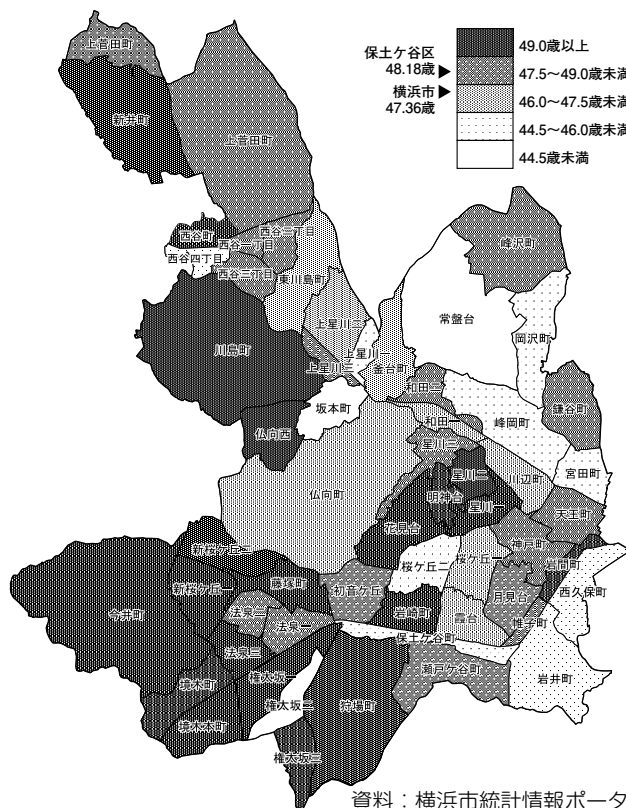
■平均年齢が高いTOP 5

No. 1	花見台	55.95歳
No. 2	新桜ヶ丘二丁目	54.18歳
No. 3	境木町	53.85歳
No. 4	新桜ヶ丘一丁目	53.38歳
No. 5	新井町	52.38歳

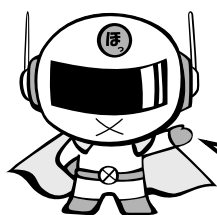
■平均年齢が低いTOP 5

No. 1	坂本町	43.39歳
No. 2	権太坂二丁目	43.93歳
No. 3	常盤台	44.45歳
No. 4	岡沢町	44.55歳
No. 5	保土ヶ谷町	44.59歳

※住民基本台帳に記載された人口と外国人登録人口の合計によるものです。



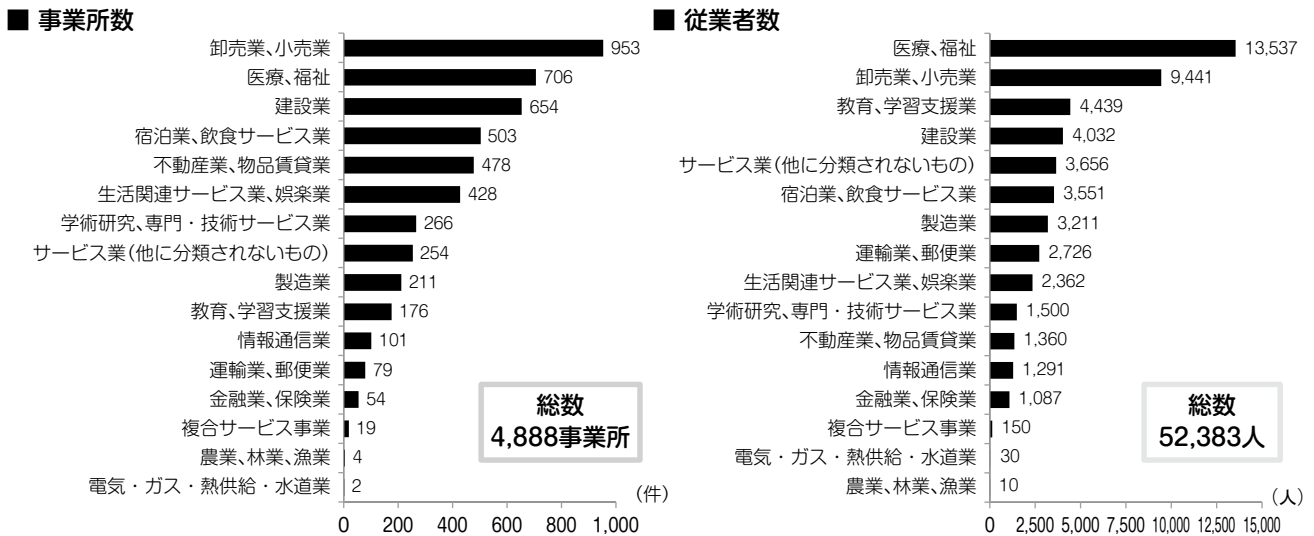
資料：横浜市統計情報ポータル



同じ保土ヶ谷区内でも各町で大きく違いがありましたね。
年齢三区分の詳しいデータは5ページをご覧ください。

3 地域経済 ～ 1. 事業所 ～

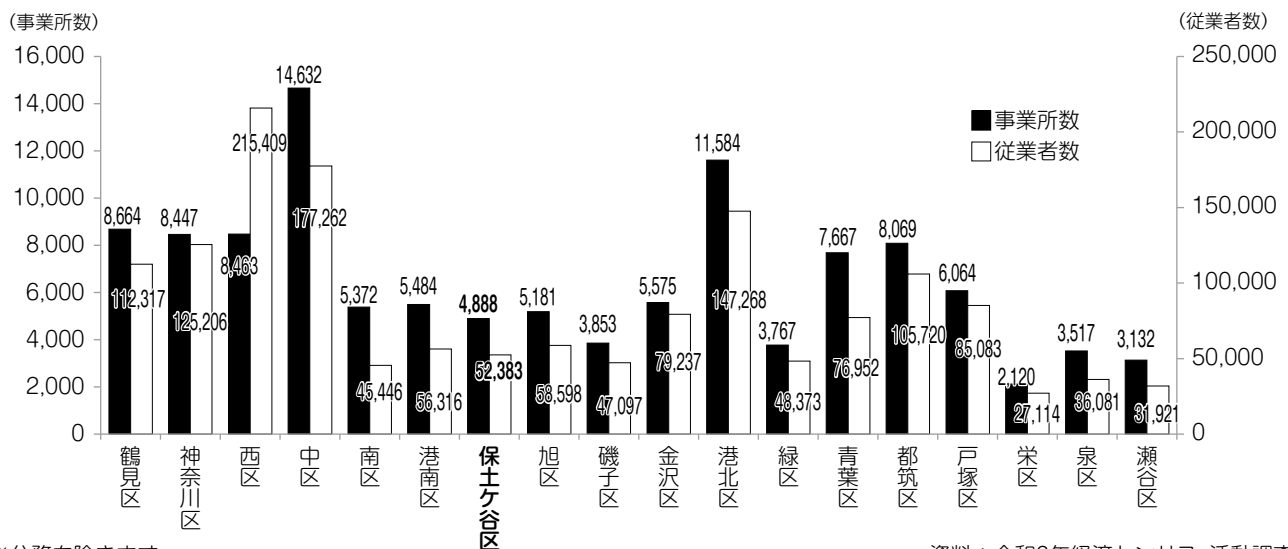
○産業大分類別事業所数・従業者数内訳(令和3年6月1日現在)



※公務を除きます。

資料：令和3年経済センサス-活動調査

○事業所数・従業者数(区別) (令和3年6月1日現在)



※公務を除きます。

資料：令和3年経済センサス-活動調査

○産業大分類別事業所数の推移

※民営事業所のみを集計です。

分類	平成21年	平成24年	平成26年	平成28年	令和3年
農業、林業、漁業	5	4	5	5	4
鉱業、採石業、砂利採取業	-	-	-	-	-
建設業	676	594	565	553	654
製造業	261	226	225	212	211
電気・ガス・熱供給・水道業	3	4	3	2	2
情報通信業	81	71	66	62	101
運輸業、郵便業	111	101	101	91	79
卸売業、小売業	1,269	1,113	1,091	1,056	953
金融業、保険業	58	53	56	48	54
不動産業、物品賃貸業	524	480	501	444	478
学術研究、専門・技術サービス業	235	194	187	190	266
宿泊業、飲食サービス業	647	597	602	591	503
生活関連サービス業、娯楽業	508	494	466	465	428
教育、学習支援業	179	165	162	175	176
医療、福祉	498	505	588	621	706
複合サービス事業	24	22	23	20	19
サービス業(他に分類されないもの)	253	218	222	215	254
合計	5,332	4,841	4,863	4,750	4,888

※公務を除きます。

資料：平成21年・平成26年経済センサス-基礎調査、平成24年・平成28年・令和3年経済センサス-活動調査

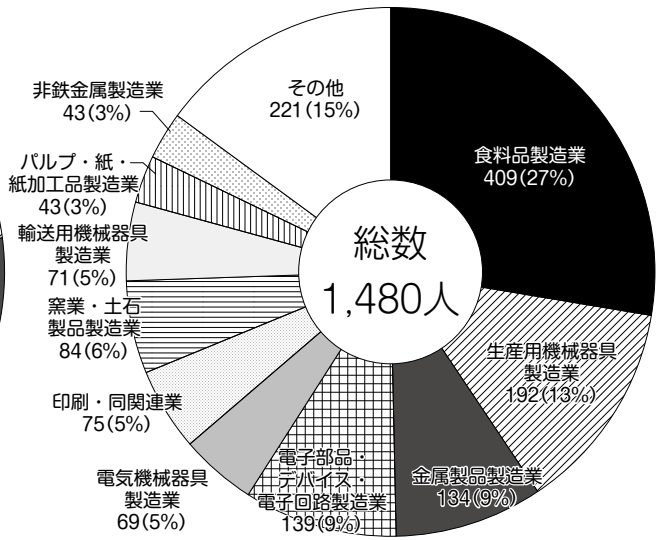
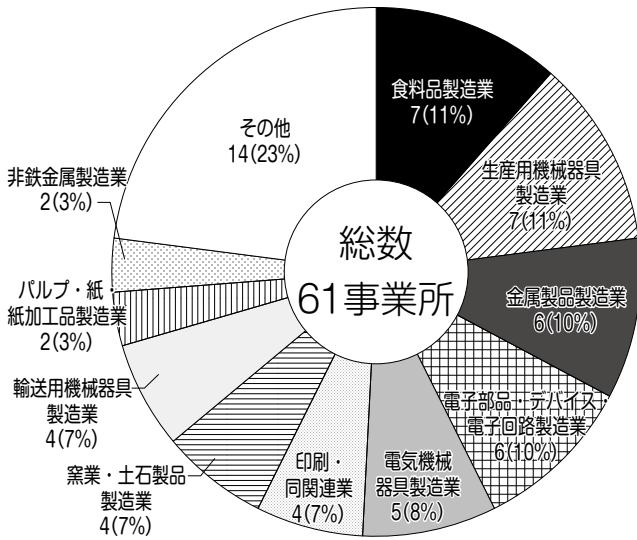
3 地域経済 ～ 2. 製造業 ～

※「従業員4人以上」等の条件を満たした事業所を対象としています。

○区内産業分類別事業所数・従業員数内訳(令和3年6月1日現在)

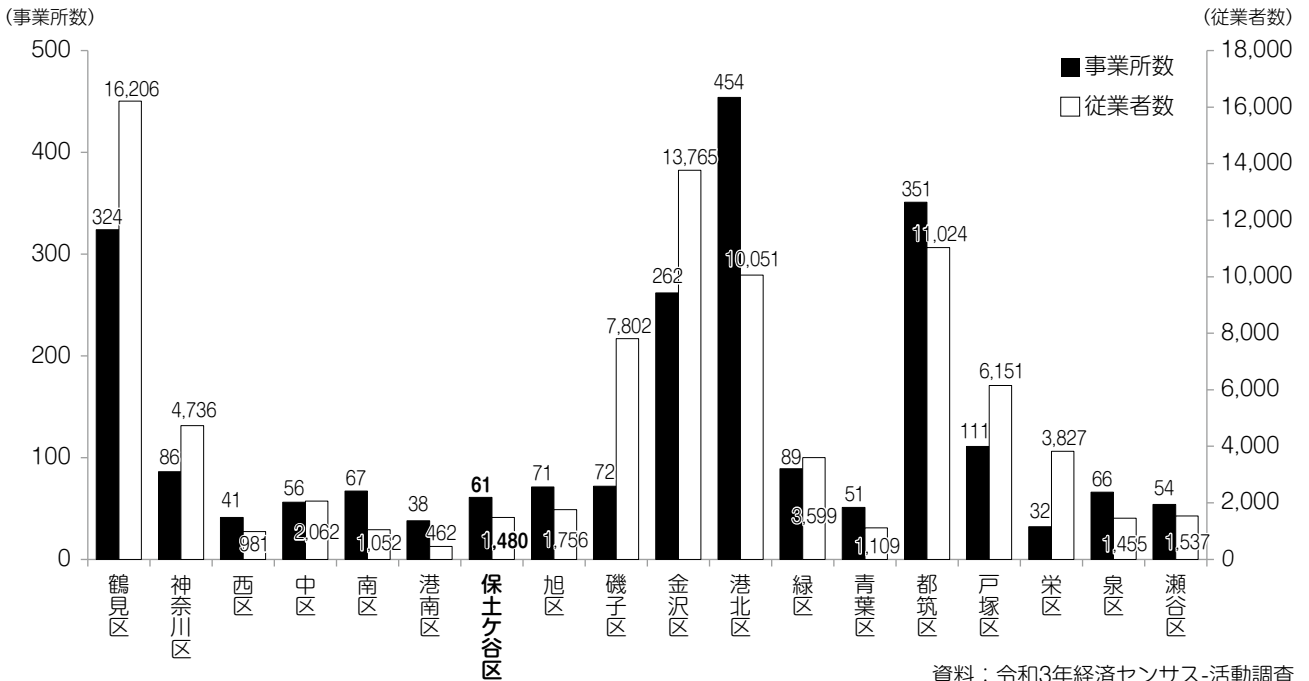
■ 事業所数

■ 従業員数



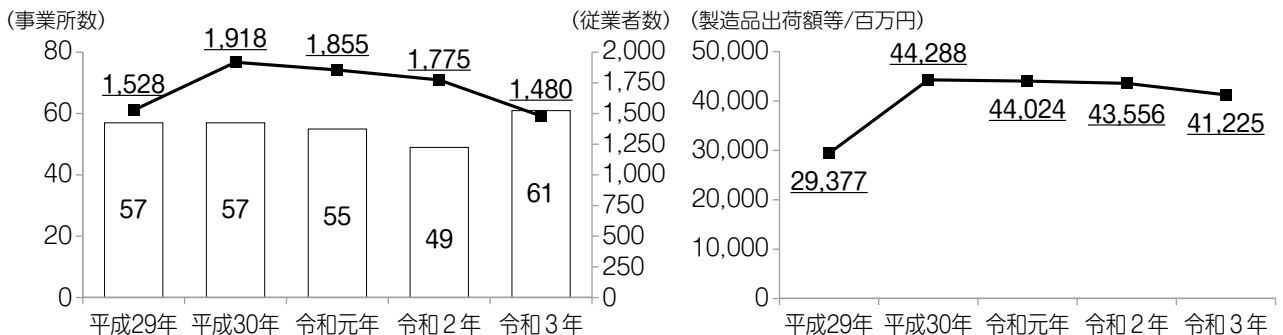
資料：令和3年経済センサス-活動調査

○事業所数・従業員数(区別) (令和3年6月1日現在)



資料：令和3年経済センサス-活動調査

○事業所数・従業員数・製造品出荷額等の推移

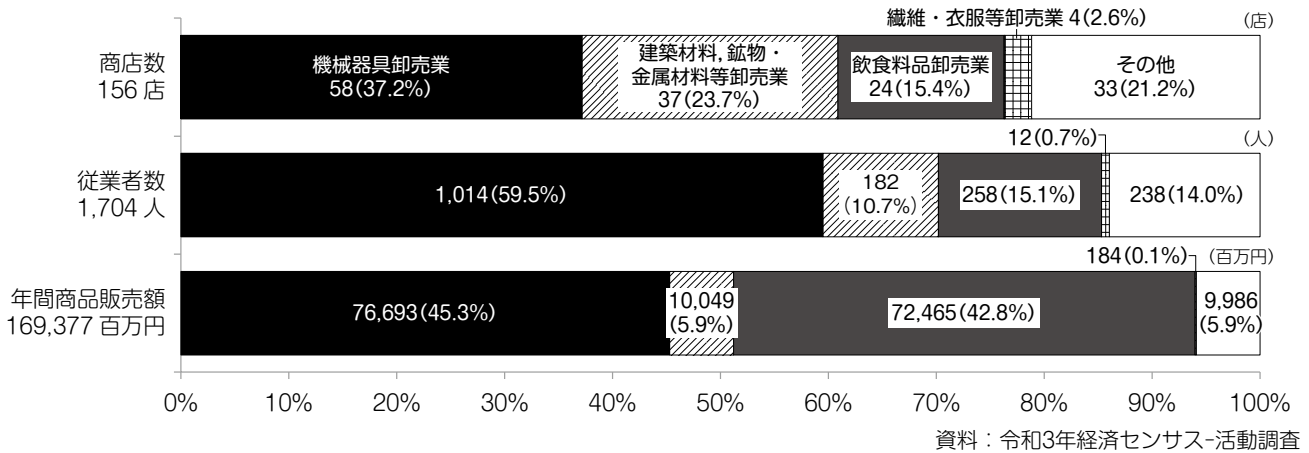


資料：2017年・2018年・2019年・2020年工業統計調査、令和3年経済センサス-活動調査

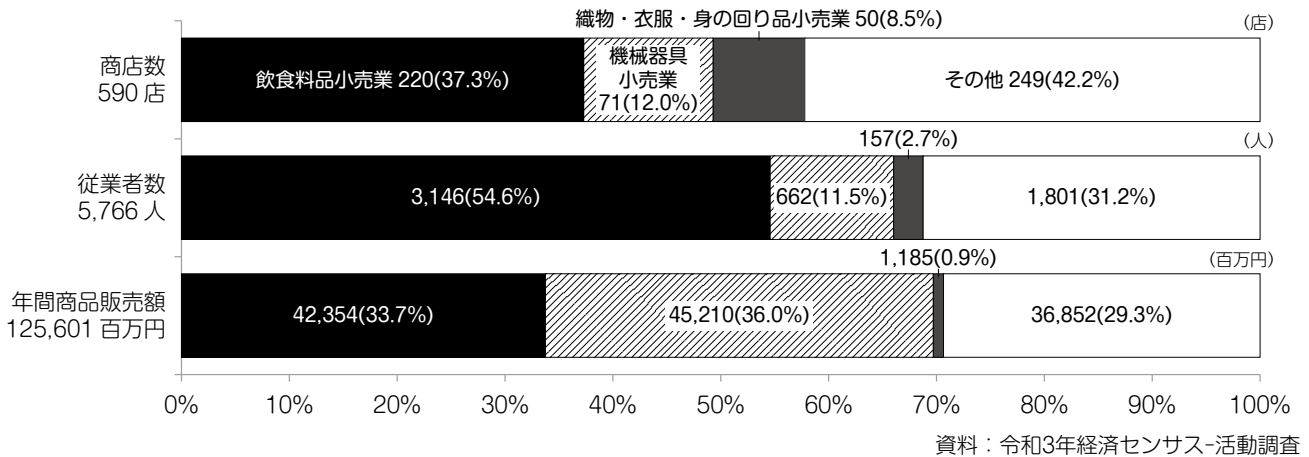
3 地域経済 ～ 3. 商業 ～

※「管理、補助的経済活動のみを行う事業所ではない」等の条件を満たした事業所を対象としています。

○卸売業の内訳(令和3年6月1日現在)



○小売業の内訳(令和3年6月1日現在)



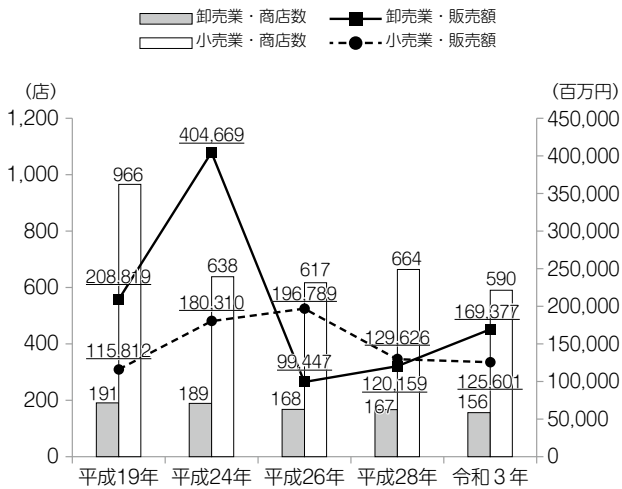
○商店数・従業者数・年間商品販売額(区別)

区分	卸売業						小売業					
	事業所数		従業者数		年間商品販売額(百万円)		事業所数		従業者数		年間商品販売額(百万円)	
	平成28年	令和3年	平成28年	令和3年	平成28年	令和3年	平成28年	令和3年	平成28年	令和3年	平成28年	令和3年
横浜市	5,032	4,905	63,945	68,348	6,687,696	6,875,814	15,193	14,340	163,611	168,665	4,011,894	3,846,147
鶴見区	365	345	3,883	3,490	349,304	371,554	1,064	961	9,171	9,935	199,802	211,920
神奈川区	553	522	8,662	9,036	933,958	1,200,224	888	834	8,001	9,418	167,839	210,632
西区	405	416	5,977	10,185	1,127,664	1,072,091	1,531	1,454	17,860	17,015	759,244	543,114
中区	605	677	6,965	7,011	722,131	777,298	1,500	1,409	11,846	12,039	293,603	324,504
南区	230	196	1,546	1,448	72,757	64,552	761	657	5,335	5,640	95,725	98,026
港南区	138	126	1,282	1,272	79,026	65,451	858	780	11,319	10,801	270,831	238,867
保土ヶ谷区	167	156	1,601	1,704	120,159	169,377	664	590	6,021	5,766	129,626	125,601
旭区	158	136	1,341	1,061	92,440	54,699	724	686	7,933	8,451	160,382	161,438
磯子区	139	114	1,113	889	68,872	61,562	525	492	5,717	5,900	108,160	93,885
金沢区	289	266	3,158	2,558	269,642	240,279	728	714	8,206	8,501	176,371	189,782
港北区	635	679	11,767	12,805	1,356,191	1,281,196	1,259	1,198	14,186	16,123	304,643	317,662
緑区	145	138	1,202	1,763	102,312	132,333	530	504	6,107	6,131	134,465	140,237
青葉区	220	192	2,266	1,377	167,803	111,340	1,099	1,102	12,662	13,540	278,486	281,107
都筑区	425	438	7,230	7,779	526,817	605,493	1,017	1,058	14,147	14,825	375,656	367,952
戸塚区	226	208	3,084	2,991	524,676	501,109	890	819	12,379	11,658	285,710	272,840
栄区	79	63	425	335	23,658	21,912	258	240	2,829	2,582	60,323	50,746
泉区	107	103	672	1,058	36,589	43,860	438	431	5,439	5,667	117,074	119,483
瀬谷区	146	130	1,771	1,586	113,696	101,485	459	411	4,453	4,673	93,956	98,351

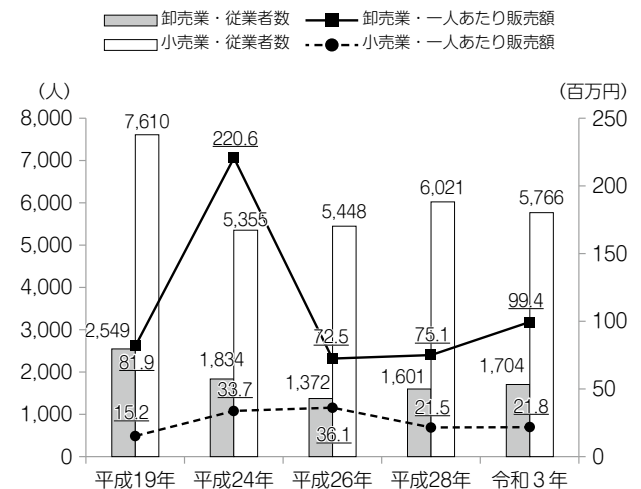
資料：平成28年・令和3年経済センサス-活動調査

3 地域経済 ～ 3. 商業 ～

○卸売業・小売業の商店数と年間商品販売額の推移



○卸売業・小売業の従業者数と一人あたり年間商品販売額の推移



資料：平成14年・平成19年・平成26年商業統計調査、平成24年・平成28年・令和3年経済センサス-活動調査

3 地域経済 ～ 4. 農業 ～

○農家数及び経営耕地面積(令和2年2月1日現在)

区分	農家数(戸)			経営耕地面積(アール)		
	総農家数	販売農家数	自給的農家数	総農家の保有する経営耕地面積	販売農家の保有する経営耕地面積	自給的農家の保有する経営耕地面積
横浜市	3,030	1,756	1,274	167,451	146,452	20,999
保土ヶ谷区	106	74	32	6,358	5,836	522

※1アール=100㎡

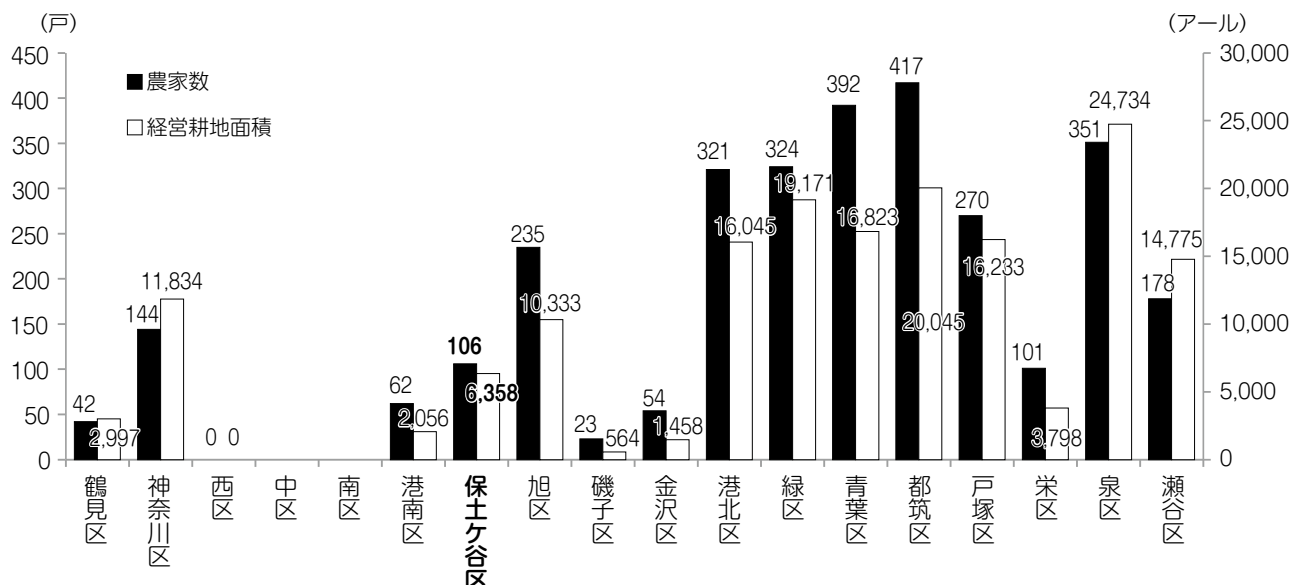
※「農家」とは経営耕地面積が10アール以上又は調査期日前1年間における農作物販売金額が15万円以上の世帯をいいます。

※「販売農家」とは経営耕地面積が30アール以上又は調査期日前1年間における農作物販売金額が50万円以上の世帯をいいます。

※「自給的農家」とは経営耕地面積が30アール未満で、かつ、調査期日前1年間における農作物販売金額が50万円未満の世帯をいいます。

資料：2020年農林業センサス

○農家数及び経営耕地面積(区別)(令和2年2月1日現在)

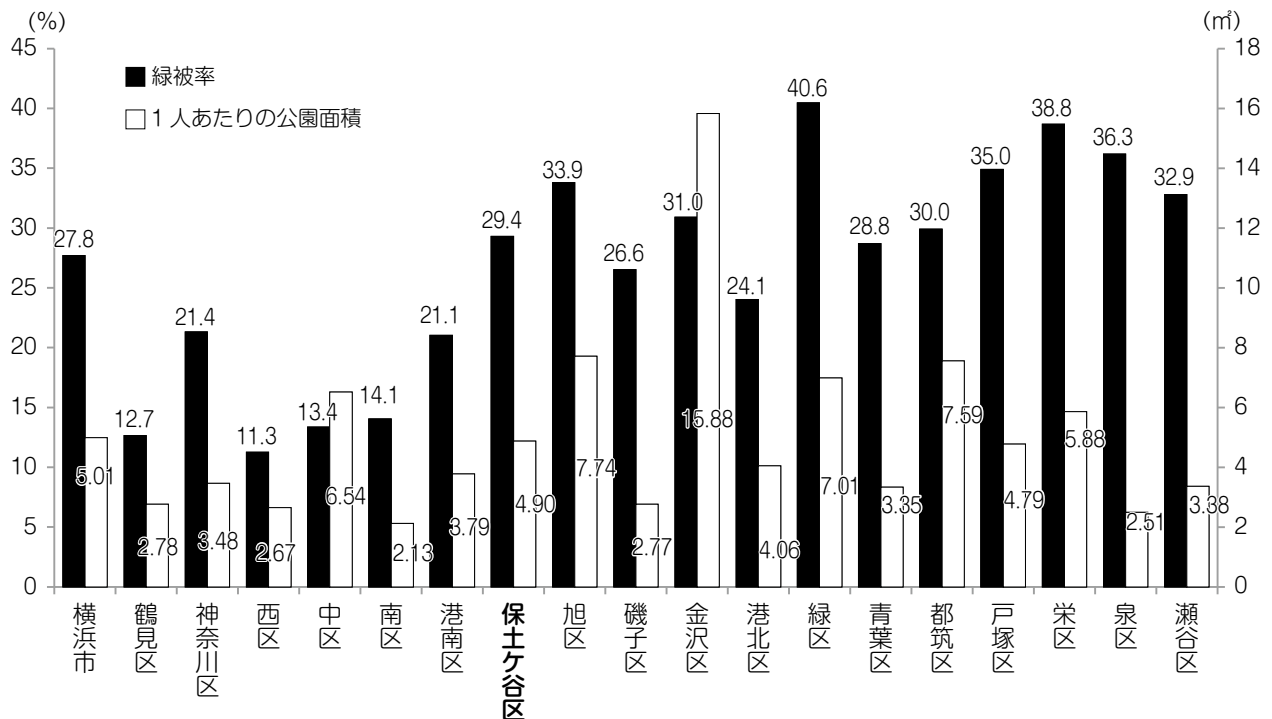


※中区及び南区は、客体数が少なく、調査客体の個別の情報が特定される恐れがあるため、秘匿処理がされています。

資料：2020年農林業センサス

4 生活環境 ～ 1.公園～

○緑被率及び一人あたり公園面積(区別)



※緑被率とは、緑総量を把握する方法のひとつで、航空写真によって上空から見たときに、緑で覆われている土地の割合を示しています。

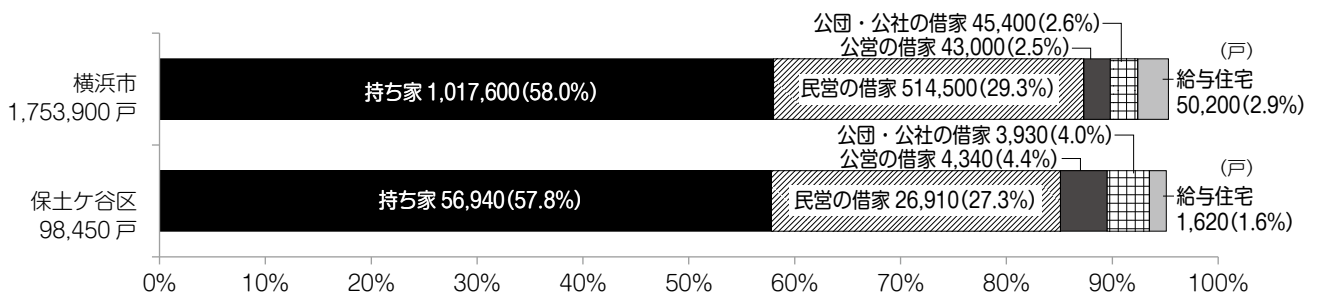
※緑被率は令和元年現在

※一人あたりの公園面積は令和6年度末現在

資料：横浜市統計情報ポータル

4 生活環境 ～ 2.住宅～

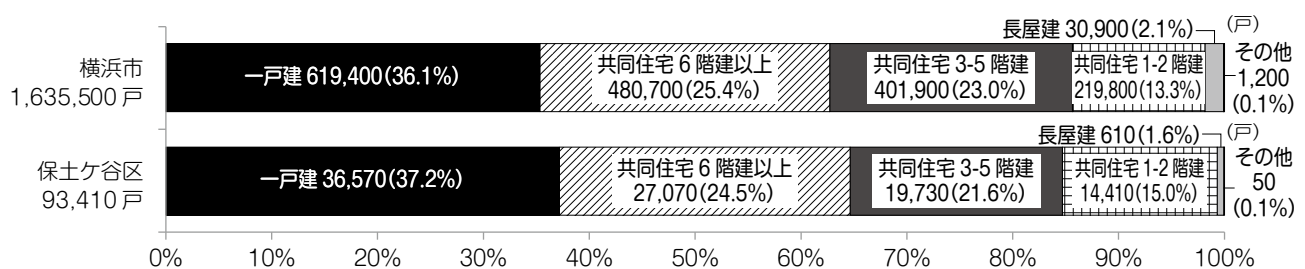
○所有関係別専用住宅数内訳(令和5年10月1日現在)



※四捨五入しているため、総数と内訳の合計が一致しません。

資料：令和5年住宅・土地統計調査

○建て方別専用住宅数内訳(令和5年10月1日現在)



※四捨五入しているため、総数と内訳の合計が一致しません。

資料：令和5年住宅・土地統計調査

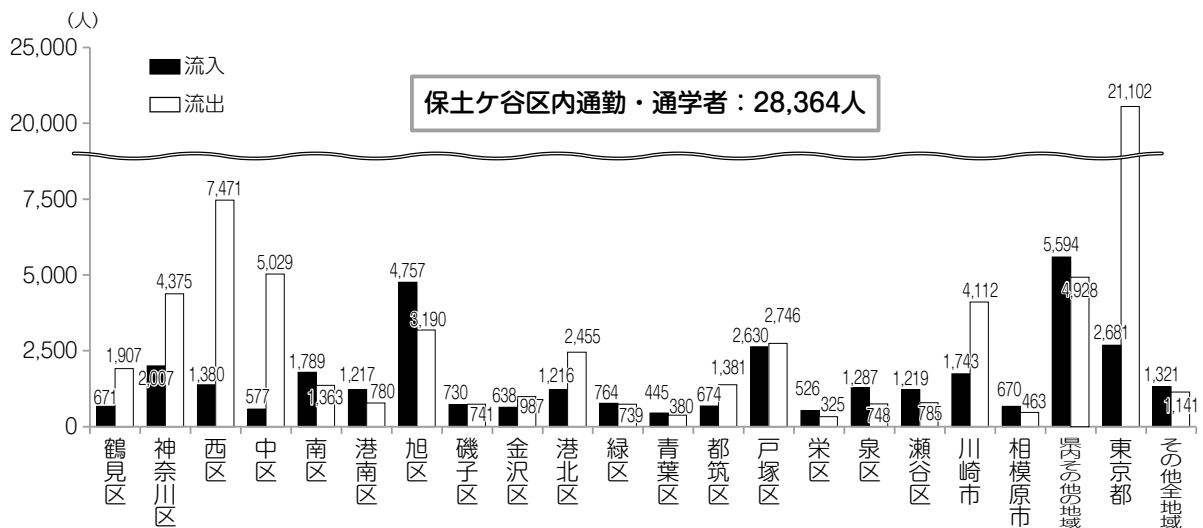
4 生活環境 ～ 3. 交通 ～

○ 鉄道駅の1日の平均乗車人員数/降車人員数の推移

駅名	乗車/降車人員	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
天王町	乗車人員	9,696	9,807	10,692	11,130	11,407
	降車人員	9,945	10,066	10,932	11,307	11,572
星川	乗車人員	11,445	12,166	13,567	14,722	15,023
	降車人員	11,166	11,866	13,367	14,784	15,124
和田町	乗車人員	6,416	6,978	7,301	7,250	7,351
	降車人員	6,491	7,005	7,229	7,068	7,122
上星川	乗車人員	10,073	10,591	11,222	11,481	11,546
	降車人員	9,570	10,023	10,648	11,003	11,060
西谷	乗車人員	10,307	11,188	12,252	14,025	14,501
	降車人員	10,356	11,242	12,202	13,736	14,250
横浜(参考)	乗車人員	148,225	152,802	164,843	157,711	157,468
	降車人員	147,922	152,381	164,385	156,938	156,760
JR 保土ヶ谷	乗車人員	26,038	26,250	27,634	28,617	29,244
	降車人員	-	-	-	-	-

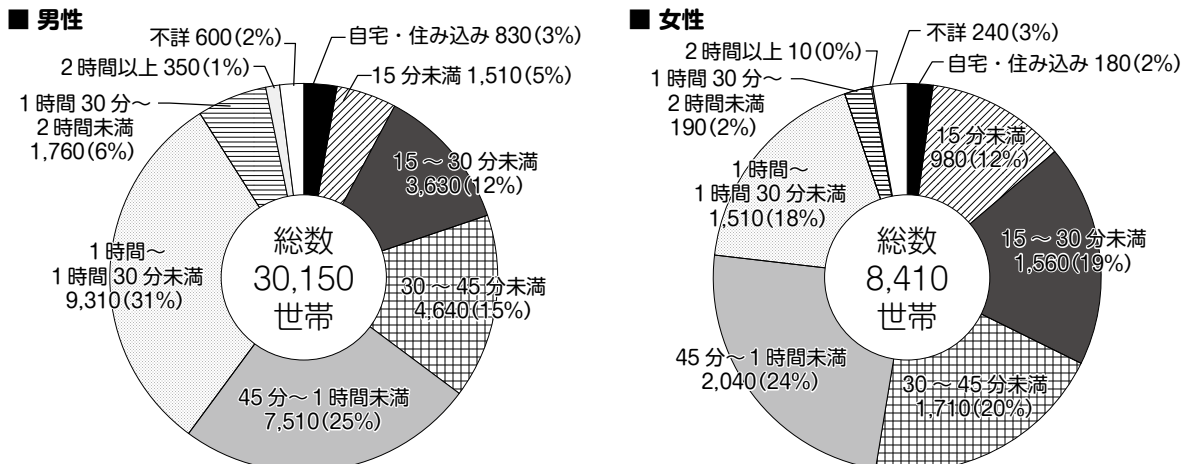
資料：横浜市統計情報ポータル

○ 15歳以上の通勤・通学者の動き(令和2年10月1日現在)



資料：令和2年国勢調査

○ 家計を主に支える者の通勤時間(令和5年10月1日現在)



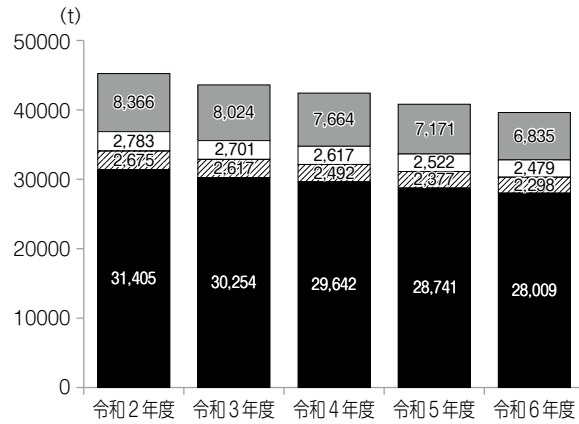
※四捨五入しているため、総数と内訳の合計が一致しません。

資料：令和5年住宅・土地統計調査

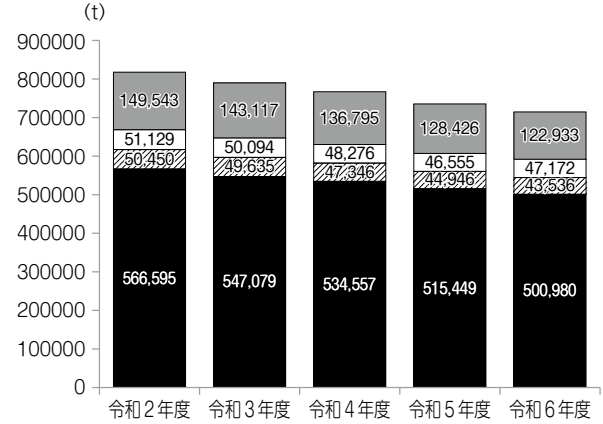
4 生活環境 ～ 4.ごみ・大気・河川～

○家庭ごみの処理量の推移

■ 保土ヶ谷区



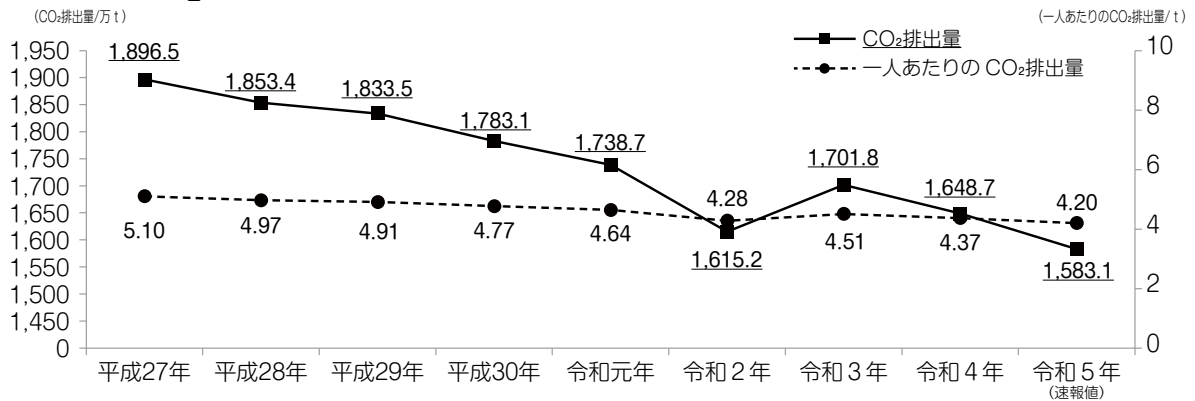
■ 横浜市



■ 燃やすごみ ■ 缶・びん・ペットボトル □ プラスチック製容器包装 ■ 古紙・古布

※プラスチックごみの分別ルール変更に伴い、横浜市の令和6年度の「プラスチック製容器包装」の数値には、令和6年10月以降に先行9区で収集した「プラスチック製品」が含まれます。先行9区：旭区、泉区、磯子区、金沢区、港南区、栄区、瀬谷区、戸塚区、中区
資料：資源循環局政策調整課

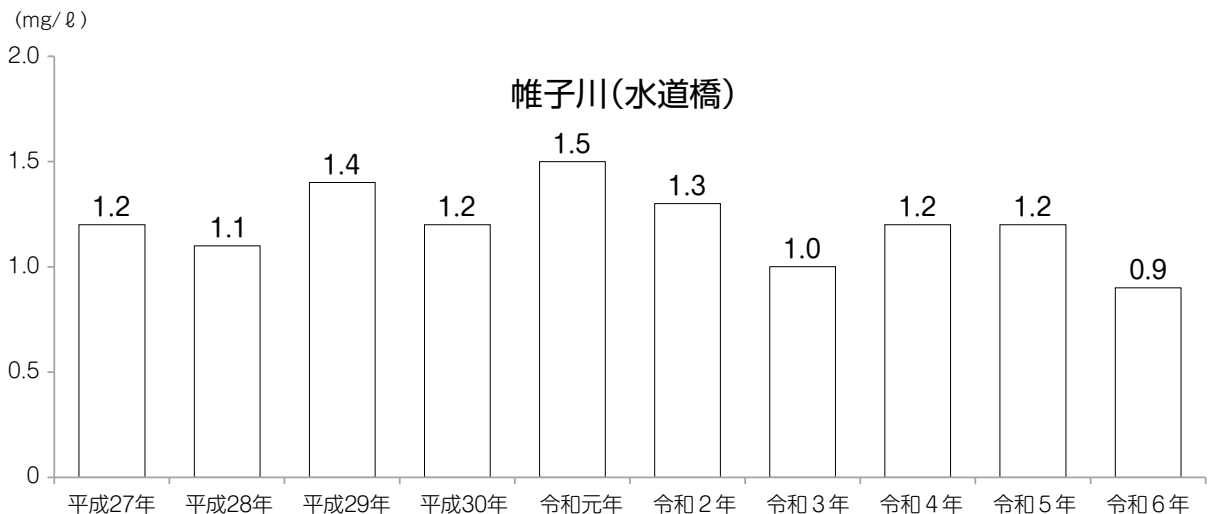
○二酸化炭素(CO₂)の排出量の推移(横浜市)



※横浜市は、2030年に温室効果ガス50%削減(平成25年比)、2050年に脱炭素社会の実現を目標としています。

資料：脱炭素・GREEN×EXPO推進局ホームページ

○河川の水質の推移(BOD濃度75%水質値)



※BODとは、「生物化学的酸素要求量」(BOD=Biochemical Oxygen Demand)。一般に、BODの数値が大きい場合は、微生物が酸素をたくさん消費して有機物を分解している状態、即ち、水中に存在する有機物の量が多いことを意味し、有機物による水質汚濁の程度が大きいこととなります。

※帷子川は、旭区で生まれ横浜駅東口まで、横浜を西から東に流れる全長約17km、流域面積57km²の二級河川です。保土ヶ谷区内の河川はすべて帷子川水系となります。

資料：みどり環境局環境管理課

4 生活環境 ～ 5. 消防・警察 ～

○救急出動件数の推移

区分		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	
救急件数		10,815	11,306	13,354	13,804	13,481	
種別内訳	急病	7,375	7,728	9,649	9,885	9,398	
	一般負傷	2,055	2,080	2,266	2,435	2,580	
	交通事故	548	581	523	512	557	
	その他	837	917	916	972	946	
	その他内訳	加害	49	30	53	51	45
		自損行為	68	67	76	74	73
		転院搬送	488	467	428	484	452
		その他	232	353	359	363	376

資料：保土ヶ谷消防署

○火災件数の推移

区分		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
火災件数(件)		26	35	36	31	34
出火原因	放火(疑い含む)	5	8	9	2	3
	こんろ	4	5	2	1	4
	たばこ	2	4	5	4	4
	ストーブ	0	0	1	0	0
	配線器具	0	2	0	1	4
	上記以外の出火原因	15	16	19	21	19
焼損床面積(m ²)	293	555	78	276	1055	
死者(人)	2	1	1	2	1	
負傷者(人)	3	10	4	3	2	

※「こんろ」には、食用油加熱による出火も含まれます。

資料：保土ヶ谷消防署

○交通事故件数等の推移

区分		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	
発生場所	県道	横浜生田線	4	1	2	5	3
		青砥上星川線	5	6	6	6	2
		保土ヶ谷停車場線	0	0	0	0	0
	市道	環状1号(保土ヶ谷宮元)	4	3	1	0	1
		環状2号	28	42	36	23	32
		水道道	11	11	18	12	9
		本宿街道	0	0	0	0	0
	その他市道	205	240	228	184	201	
	国道	1号	61	69	79	51	64
		16号	66	67	68	52	69
	その他道路	24	15	16	12	14	
	事故件数計(件)		408	454	454	345	395
	死者(人)		5	3	0	4	4
負傷者(人)		476	514	526	398	436	

資料：保土ヶ谷警察署

4 生活環境 ～ 5. 消防・警察 ～

○ 刑法犯罪発生件数の推移

区 分		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
件	数(件)	660	567	707	741	781
内 訳	窃 盗 犯	465	396	502	541	533
	凶 悪 犯	4	7	4	9	11
	粗 暴 犯	55	39	54	60	44
	知 能 犯	29	40	47	43	77
	風 俗 犯	8	18	13	10	20
	そ の 他	99	67	87	78	96

資料：保土ヶ谷警察署

○ 刑法犯罪発生件数の町別状況

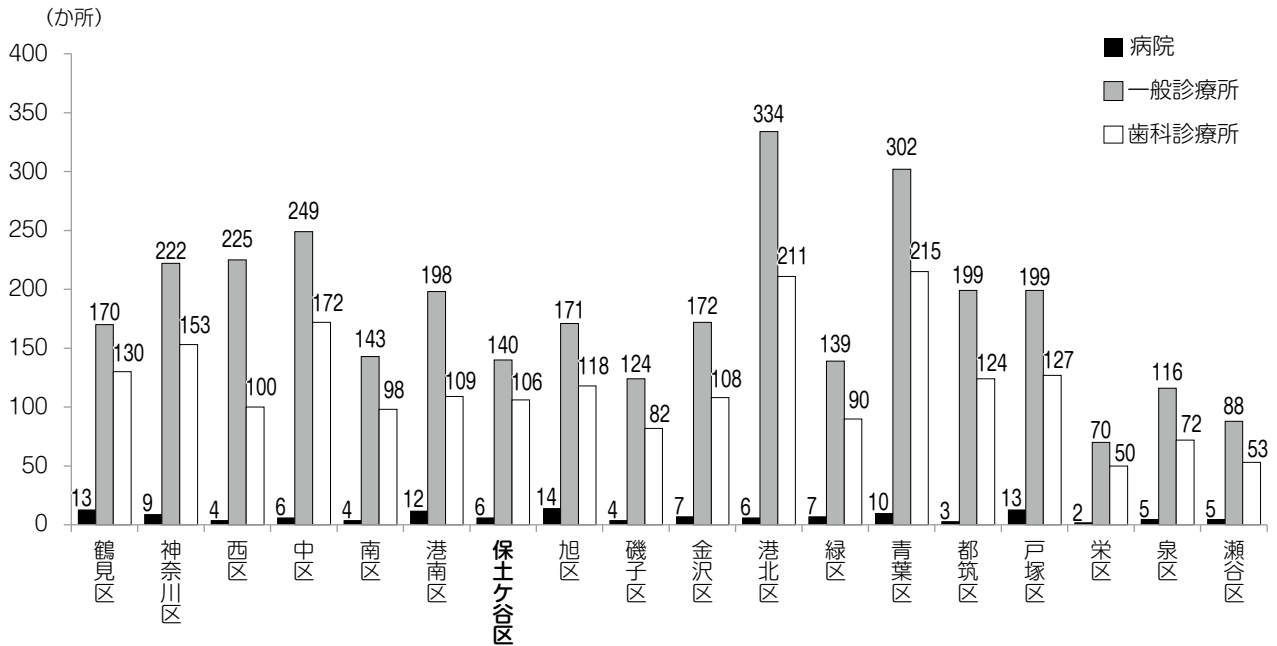
町 名	件 数		
	令和4年	令和5年	令和6年
新 井 町	20	16	16
今 井 町	25	19	14
岩 井 町	29	34	65
岩 崎 町	5	5	10
岩 間 町	14	5	10
岡 沢 町	11	9	3
霞 台	4	4	5
帷 子 町	14	14	18
釜 台 町	13	9	10
鎌 谷 町	13	15	13
上 菅 田 町	50	23	35
上星川一～三丁目	25	28	31
狩 場 町	22	23	30
川 辺 町	52	67	71
川 島 町	18	23	33
神 戸 町	19	14	11
権太坂一～三丁目	28	33	26
境 木 町	6	0	2
境 木 本 町	7	8	4
坂 本 町	5	8	7
桜ヶ丘一・二丁目	11	12	7
新桜ヶ丘一・二丁目	16	12	14

町 名	件 数		
	令和4年	令和5年	令和6年
瀬 戸 ヶ 谷 町	7	6	13
月 見 台	1	4	4
天 王 町	35	41	56
常 盤 台	34	33	26
西 久 保 町	6	4	16
西谷町・西谷一～四丁目	22	32	31
初 音 ヶ 丘	9	5	7
花 見 台	3	11	4
東 川 島 町	15	22	26
藤 塚 町	9	2	4
仏 向 町	45	44	32
仏 向 西	8	7	5
法泉一～三丁目	13	13	8
星川一～三丁目	32	40	41
保 土 ヶ 谷 町	6	10	11
峰 岡 町	20	27	20
峰 沢 町	3	13	9
宮 田 町	13	20	10
明 神 台	4	7	8
和田一・二丁目	15	19	15
合 計	707	741	781

資料：保土ヶ谷警察署

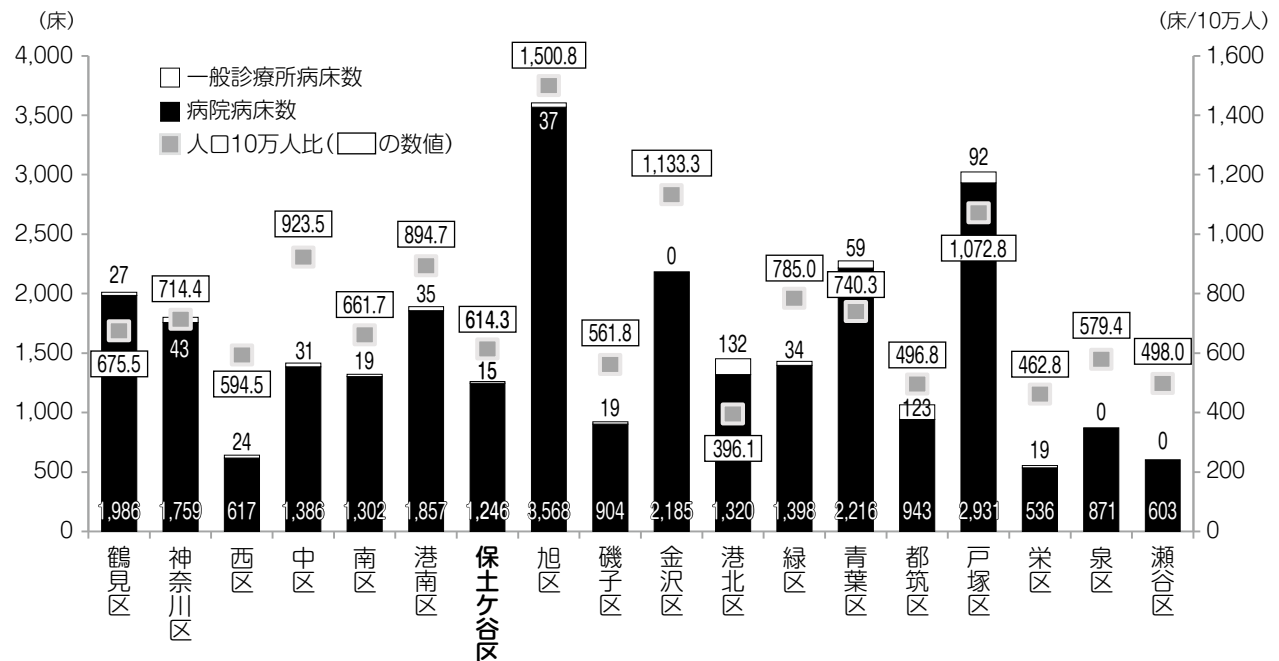
4 生活環境 ～ 6. 医療 ～

○医療施設数(区別) (令和7年3月31日現在)



資料：医療局医療安全課

○病床数と人口10万人比病床数(区別) (令和7年3月31日現在)



※人口は令和7年4月1日現在人口推計です。

※「人口10万人比」は「病院及び一般診療所の病床数」に対する値です。

資料：医療局医療安全課

4 生活環境 ～ 6. 医療 ～

○がん検診の受診者数の推移

診名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
胃がん検診	1,284	2,417	1,874	2,414	2,332
肺がん検診	4,722	5,238	5,471	5,802	6,116
大腸がん検診	6,734	7,970	7,964	8,159	8,613
乳がん検診	2,201	2,828	2,789	3,178	3,148
子宮がん検診	5,847	6,300	6,083	6,403	6,523

※子宮頸がん検診は20歳、乳がん検診は40歳の節目にクーポン券が配布されています。

資料：保土ヶ谷区福祉保健課

4 生活環境 ～ 7. 衛生 ～

○動物関係の相談等件数(令和6年度)

区分	件数
犬の登録数	8,878
犬苦情受付件数	340
失踪犬などの問合せ	18
こう傷事故件数	4
猫苦情受付件数	217
失踪猫などの問合せ	32
その他飼育動物苦情受付件数	6
犬猫以外の失踪動物などの問合せ	5

※生後91日以上飼育犬には、登録(犬の生涯で1回)と年1回の狂犬病予防注射が義務付けられています。

資料：保土ヶ谷区生活衛生課

○食品衛生関係許可等施設数(令和6年度)

区分	施設数	
許可営業	飲食業	1,045
	販売業	55
	製造業	153
届出営業	645	

資料：保土ヶ谷区生活衛生課

○食中毒発生状況(令和6年度)

発生件数	1
患者数	1

資料：保土ヶ谷区生活衛生課

○害虫等苦情相談件数の推移

年度	1位		2位		3位		その他	合計
令和2年度	ハチ	222	ネズミ	125	哺乳類	23	34	404
令和3年度	ハチ	225	ネズミ	123	哺乳類	37	63	448
令和4年度	ハチ	224	ネズミ	122	哺乳類	31	65	442
令和5年度	ハチ	213	ネズミ	165	哺乳類	28	68	474
令和6年度	ハチ	196	ネズミ	187	哺乳類	76	85	544

資料：保土ヶ谷区生活衛生課

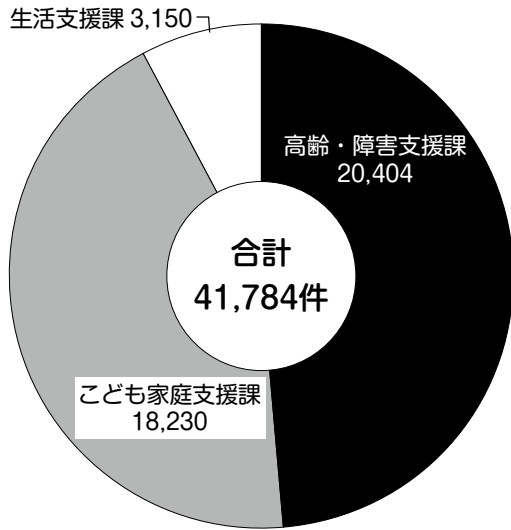
○環境衛生関係許可等施設数(令和6年度)

業種	施設数	業種	施設数	業種	施設数
旅館	4	理容所	84	プール	6
興行場	2	美容所	211	温泉	2
公衆浴場	15	クリーニング所	68	畜舎(犬)	5

資料：保土ヶ谷区生活衛生課

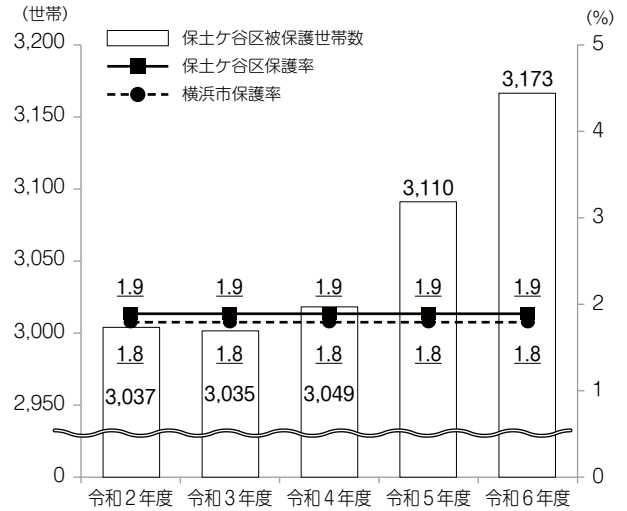
5 福祉保健 ～ 1. 生活保護 ～

○福祉保健相談等内訳(令和6年度)



資料：保土ヶ谷区福祉保健課

○生活保護状況の推移

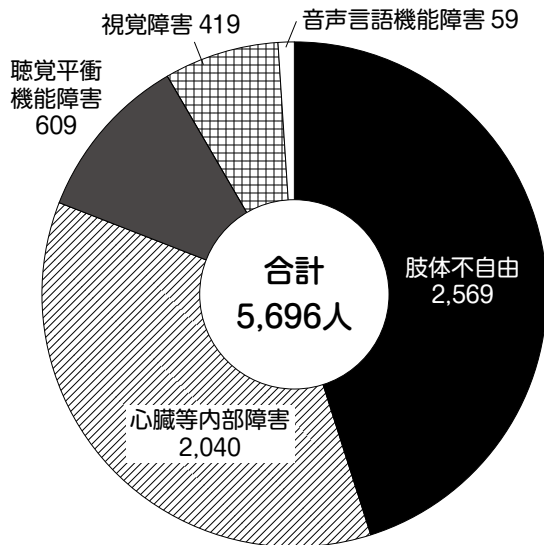


※保護率は、百分率で表示しています。たとえば、1.9%は、人口100人あたり、1.9人が生活保護を受けていることになります。

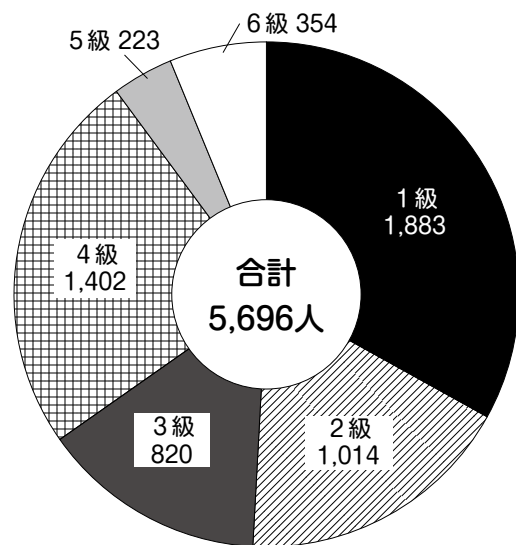
資料：保土ヶ谷区生活支援課

5 福祉保健 ～ 2. 障害者・介護保険・高齢者 ～

○身体障害者手帳所持者数 障害別 (令和7年3月31日現在)



○身体障害者手帳所持者数 等級別 (令和7年3月31日現在)



※身体障害者手帳は、視覚、聴覚、平衡機能、音声・言語またはそしゃく機能、肢体、心臓、腎臓、肝臓(平成22年4月1日追加)、呼吸器、膀胱または直腸、小腸、免疫の各機能に永続する障害のある方を対象として交付され、障害の程度により1級から6級までに区分されます。

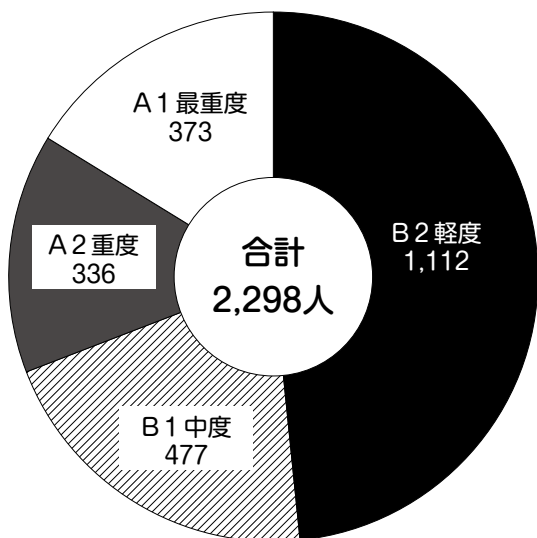
資料：保土ヶ谷区高齢・障害支援課

資料：保土ヶ谷区高齢・障害支援課

5 福祉保健 ～ 2. 障害者・介護保険・高齢者 ～

○愛の手帳所持者数

(令和7年3月31日現在)

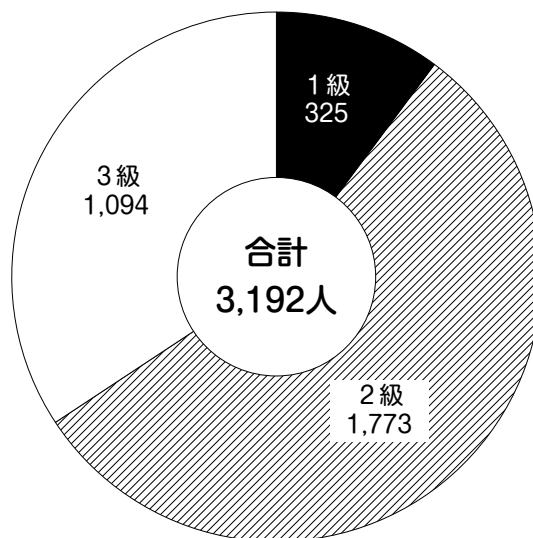


※愛の手帳は、児童相談所または横浜市障害者更生相談所で知的障害と判定された方に交付され、障害の程度によって4段階に区分されます。

資料：保土ヶ谷区高齢・障害支援課

○精神障害者保健福祉手帳所持者数

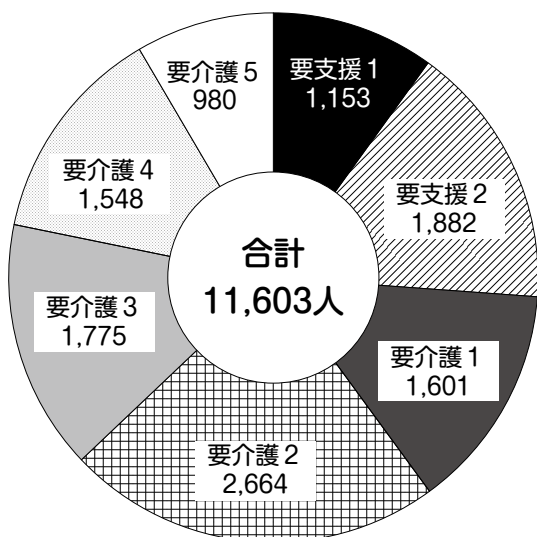
(令和7年3月31日現在)



※精神障害者保健福祉手帳は、精神疾患を有し、精神障害のため長期にわたり日常生活または社会生活に制約のある方を対象として交付されます。障害の程度によって1級から3級までに区分されます。

資料：保土ヶ谷区高齢・障害支援課

○要介護認定者の状況(令和7年3月31日現在)



※介護保険制度は、老後の大きな不安である「介護」を社会全体で支える仕組みです。介護保険サービスを利用するには、申請書を提出し、区役所で介護の必要性について認定を受ける必要があります。

資料：保土ヶ谷区高齢・障害支援課

○老人福祉施設等整備状況(令和7年10月1日現在)

区分	施設数
特別養護老人ホーム ※	12
養護老人ホーム ※	0
地域ケアプラザ	8
老人保健施設	5
介護療養型医療施設 ※	0
認知症高齢者グループホーム ※	15
小規模多機能型居宅介護 ※	10
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	4
有料老人ホーム ※	19

※印は、入所施設

資料：保土ヶ谷区高齢・障害支援課
保土ヶ谷区福祉保健課

5 福祉保健 ～ 3. こども家庭 ～

○母子手帳交付数及び乳幼児健診の推移

区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
母子手帳交付数(件)		1,363	1,321	1,228	1,235	1,311
4か月児	受診者数	1,223	1,126	1,138	1,106	1,103
	受診率(%)	93.7	88.7	97.9	100.7	100.1
1歳6か月児	受診者数	1,256	1,212	1,192	1,176	1,191
	受診率(%)	98.2	92.0	94.7	97.8	98.4
3歳児	受診者数	1,355	1,245	1,238	1,198	1,240
	受診率(%)	91.8	92.5	94.7	95.6	97.1

資料：保土ヶ谷区こども家庭支援課

○児童扶養手当の支給状況の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
児童扶養手当(件)	1,322	1,322	1,243	1,135	1,105

※児童扶養手当は、ひとり親家庭の方に支給されます。

資料：保土ヶ谷区こども家庭支援課

※所得制限等の支給要件があります。

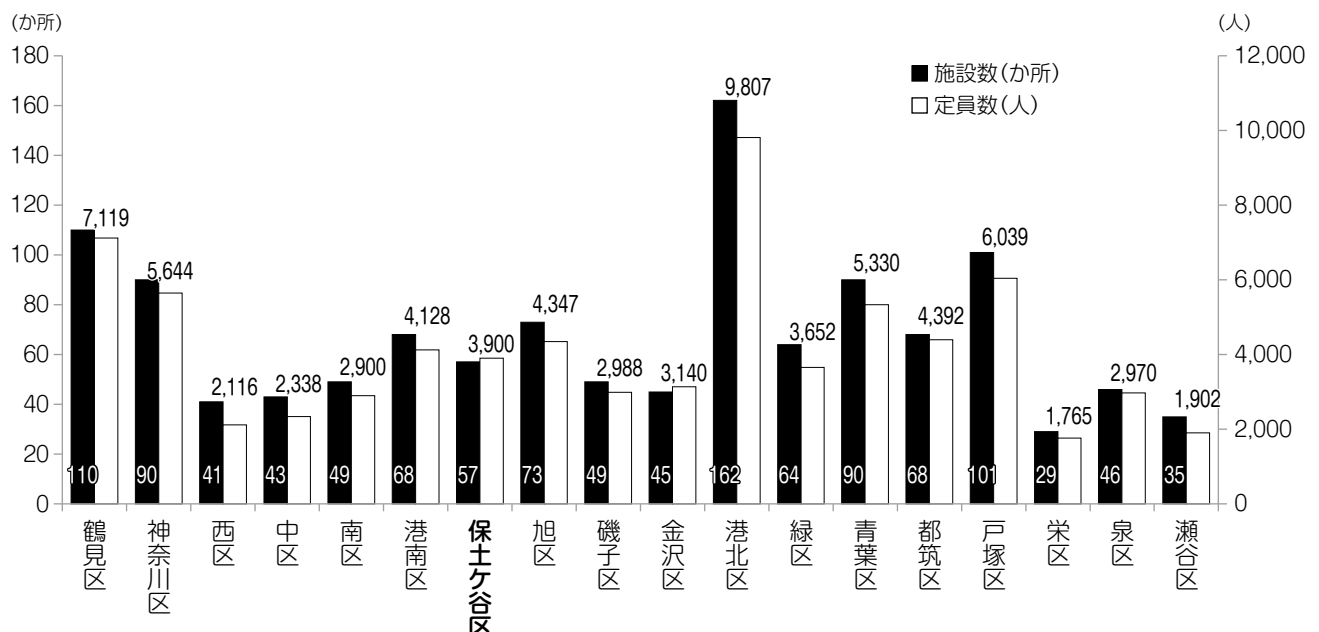
○認可保育施設・事業及び待機児童等の推移

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
横浜市	施設・事業者数(所)	1,146	1,176	1,196	1,207	1,220
	定員数	71,698	72,966	73,709	74,038	74,477
	待機児童数	16	11	10	5	0
保土ヶ谷区	施設・事業者数(所)	55	55	56	56	57
	定員数	3,744	3,776	3,823	3,827	3,900
	待機児童数	0	1	0	0	0

※保育所のほか、幼保連携型認定こども園、地域型保育(家庭的保育、小規模保育、事業所内保育)を含みます。

資料：保土ヶ谷区こども家庭支援課

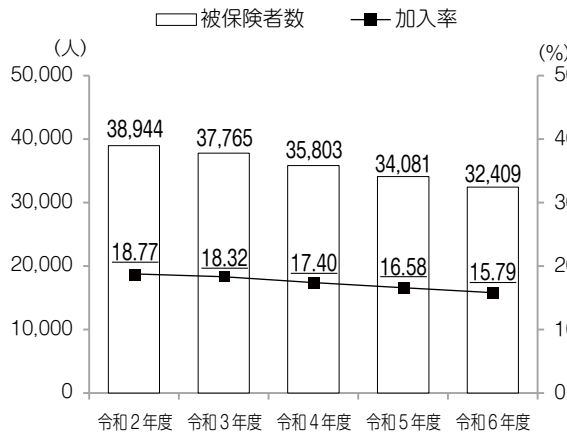
○認可保育施設数等の状況(区別) (令和7年4月1日現在)



資料：保土ヶ谷区こども家庭支援課

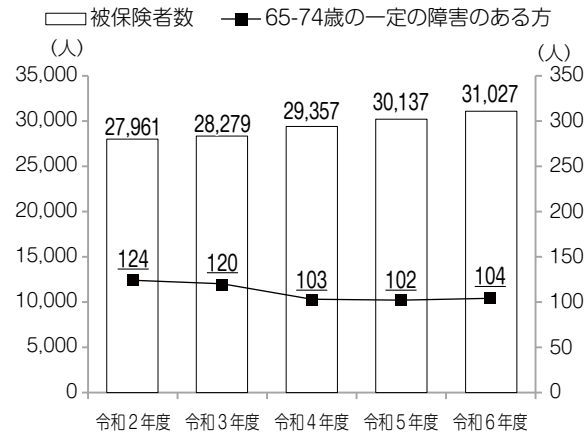
6 保険・年金

○国民健康保険被保険者数の推移



※加入率は被保険者数を推計人口で除しています。
資料：保土ヶ谷区保険年金課

○後期高齢者医療制度被保険者数の推移



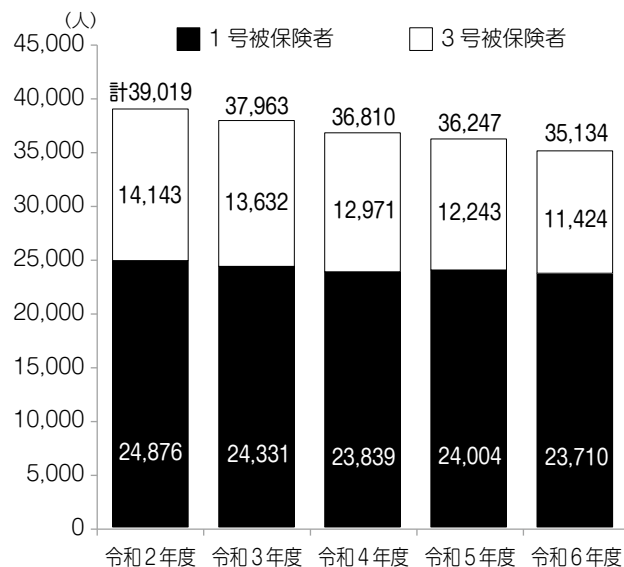
※65～74歳の一定の障害のある方は、加入する健康保険について、「後期高齢者医療制度」又は「国民健康保険や会社等で入る健康保険」どちらかを選択することが可能です。
資料：保土ヶ谷区保険年金課

○国民年金受給者数の推移

区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
(拠出年金)	老齢年金・老齢基礎年金	50,234	50,473	50,711	50,632	50,372
	障害年金・障害基礎年金	1,315	1,345	1,423	1,472	1,471
	母子年金・遺族基礎年金	288	268	243	250	244
	寡婦年金	15	12	12	15	13
(無拠出年金)	老齢福祉年金	0	0	0	0	0
	障害基礎年金	1,912	1,980	2,048	2,109	2,165
合計		53,764	54,078	54,189	54,478	54,265

資料：保土ヶ谷区保険年金課

○国民年金被保険者数の推移



※1号被保険者……自営業・自由業・農林漁業・学生・無職の方などで20歳以上60歳未満の方(任意加入被保険者は除きます)
※3号被保険者……厚生年金や共済年金の加入者の被扶養配偶者で20歳以上60歳未満の方

資料：保土ヶ谷区保険年金課

7 教育

○学校等の状況(令和7年5月1日現在)

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校	幼稚園	専修学校
	公立	公立	私立	公立	私立	公立	私立	私立	
学校数	20	9	1	4	1	3	21	2	
幼児・児童・生徒数	8,536	4,312	-	3,321	1,434	494	2,354	414	
本務教員数	554	287	-	242	70	314	339	27	

※幼稚園には、幼保連携型こども園を含みます。

資料：令和7年学校基本調査

※私立中学校は、現在休校中です。

○公立学校の児童・生徒数(令和7年5月1日現在)

小学校			
新井	212	瀬戸ヶ谷	347
今井	210	常盤台	615
岩崎	326	初音が丘	534
帷子	291	藤塚	252
上菅田笹の丘	902	富士見台	523
上星川	524	仏向	585
川島	415	星川	346
権太坂	364	保土ヶ谷	280
坂本	679	峯	596
桜台	535	合計	8,536

中学校	
新井	201
岩井原	420
岩崎	730
上菅田	382
橘	675
西谷	630
保土ヶ谷	940
宮田	334
合計	4,312

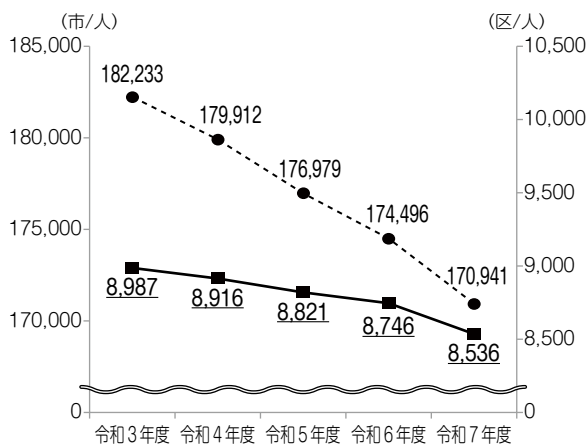
高等学校	
県立光陵	948
県立商工	662
県立保土ヶ谷	762
市立桜丘	949
合計	3,321

※新井小・中学校桜坂分校を含みます。

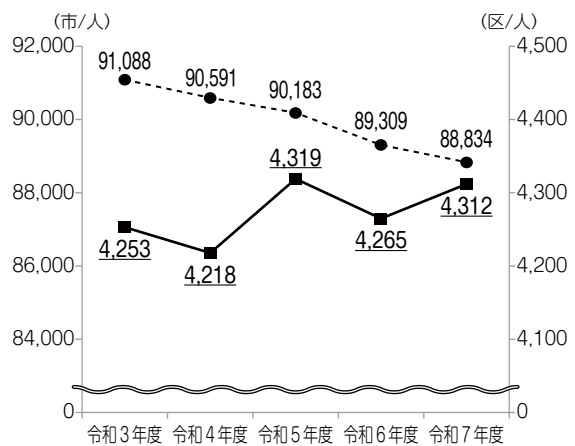
資料：神奈川の教育統計

○小・中・高の児童・生徒数の推移

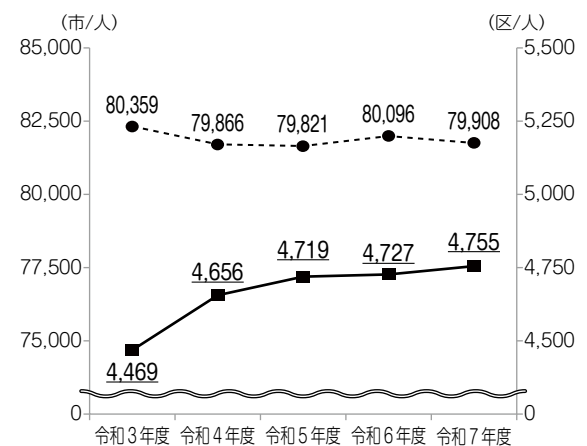
■ 小学校



■ 中学校



■ 高等学校



● 横浜市
■ 保土ヶ谷区

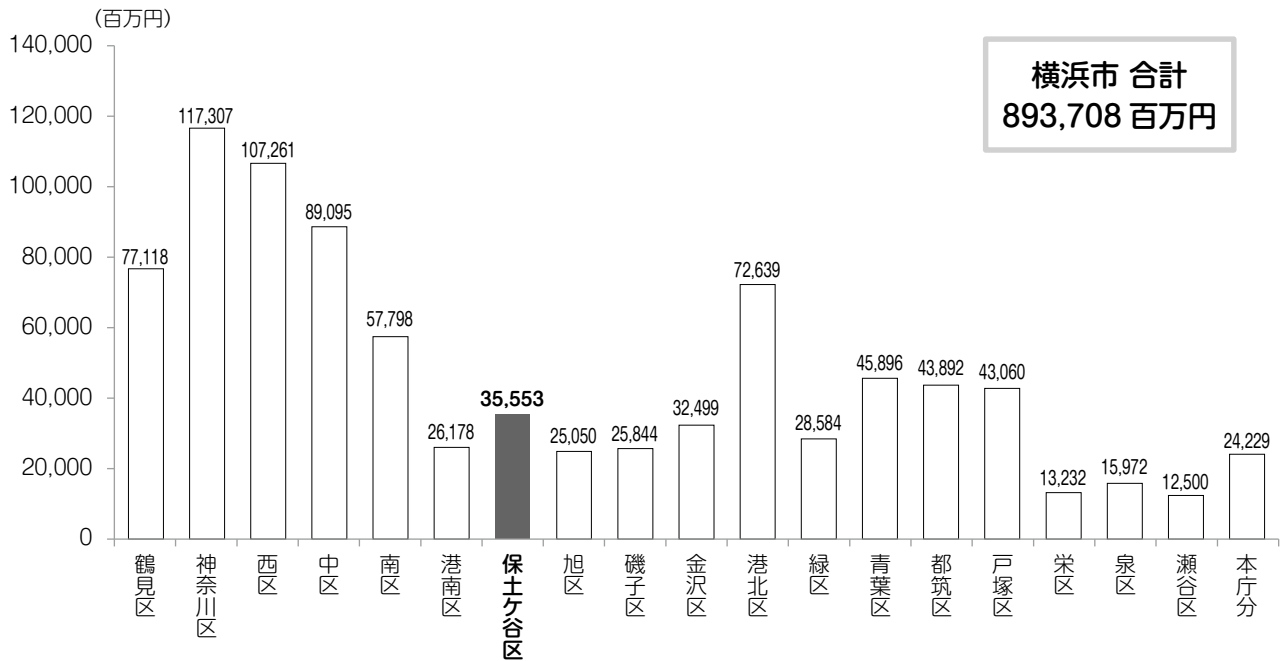
※生徒数は、公立、私立を合わせた総数です。

資料：学校基本調査

資料：令和7年学校基本調査

8 市 税

○市税収入状況(区別) (令和6年度)



資料：保土ヶ谷区税務課

○税目別収入状況(横浜市)

税目	税額(千円)
個人市民税	422,523,913
法人市民税	59,287,576
固定資産税	300,780,121
軽自動車税	3,665,325
市たばこ税	22,911,491
入湯税	86,796
事業所税	19,730,786
都市計画税	64,721,726

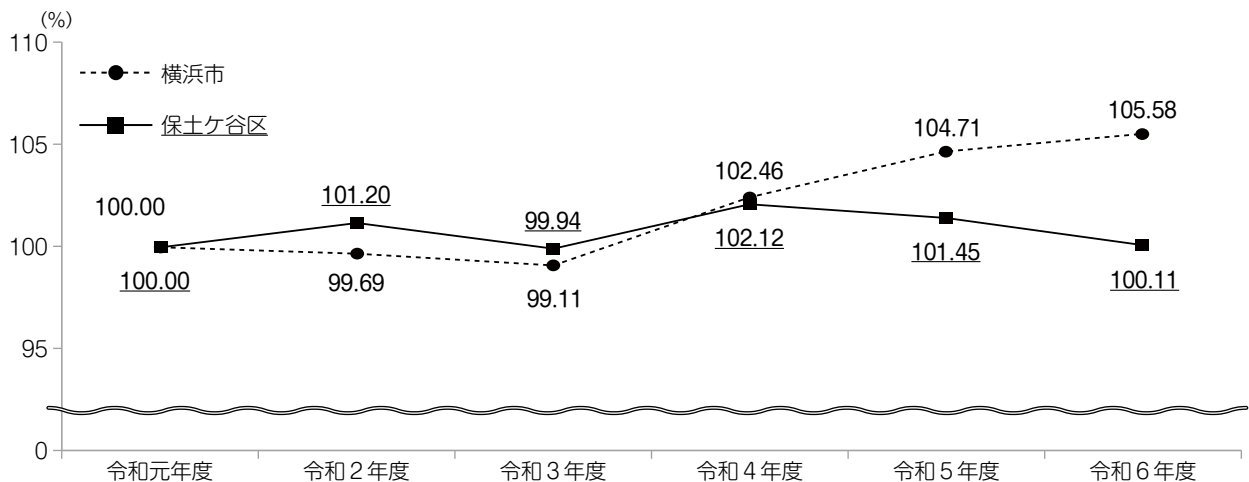
資料：保土ヶ谷区税務課

○市税収入額の推移

年度	横浜市(千円)	保土ヶ谷区(千円)
令和元年度	846,456,005	35,513,031
令和2年度	843,869,812	35,938,953
令和3年度	838,901,732	35,492,271
令和4年度	867,276,496	36,264,543
令和5年度	886,303,551	36,029,020
令和6年度	893,707,735	35,552,661

資料：保土ヶ谷区税務課

○令和元年度を基点とした市税収入額の推移

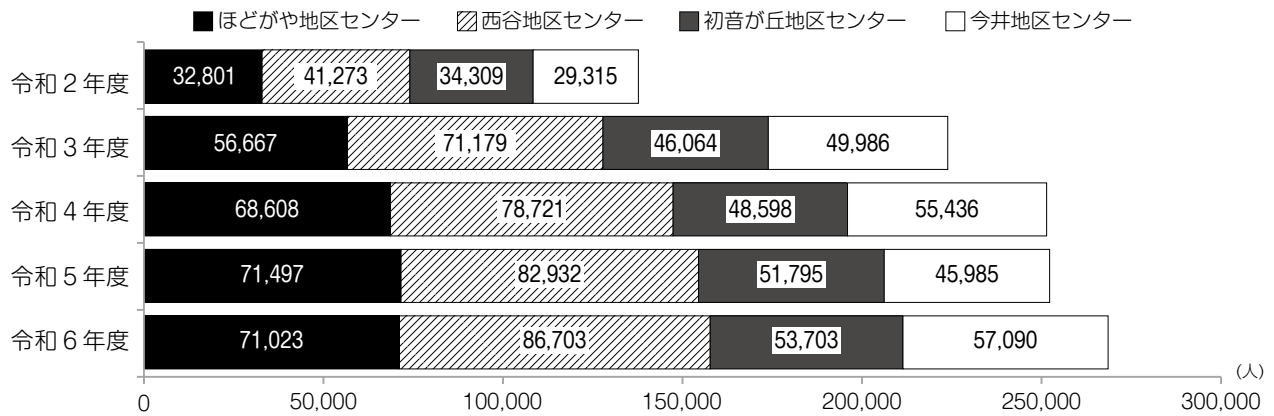


資料：保土ヶ谷区税務課

9 市民利用施設

※地区センター・コミュニティハウス・スポーツセンター等施設は令和2年3月3日から令和2年5月31日まで、新型コロナウイルスに伴う緊急事態宣言により全館休館を実施しました。
 なお、令和3年度は開館時間短縮等利用制限を実施しました。

○地区センター利用者数の推移



資料：保土ヶ谷区地域振興課

○スポーツセンター等利用状況の推移

年度	保土ヶ谷スポーツセンター(人)	瀬戸ヶ谷スポーツ会館(人)
令和2年度	-	8,669
令和3年度	60,335	11,162
令和4年度	241,998	12,382
令和5年度	316,277	12,700
令和6年度	313,946	11,448

※保土ヶ谷スポーツセンターは令和2年6月1日から令和3年3月31日まで施設改修に伴う全館休館を実施しました。

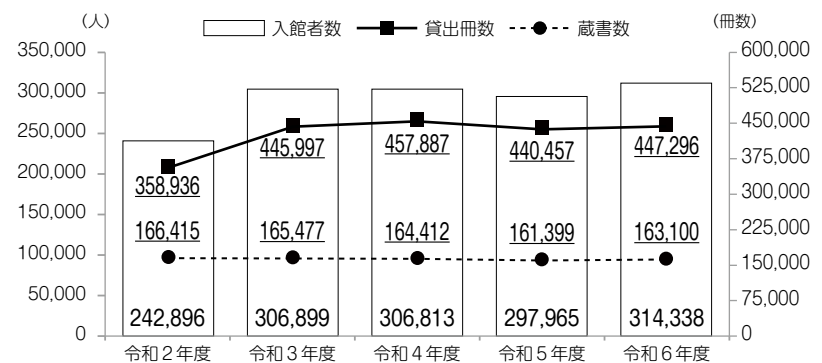
資料：保土ヶ谷区地域振興課

○コミュニティハウス等の利用状況(令和6年度)

施設名	利用者数(人)
桜ヶ丘コミュニティハウス	26,224
権太坂コミュニティハウス	21,231
常盤台コミュニティハウス	19,676
上菅田笹の丘コミュニティハウス	10,036
川島町公園こどもログハウス	23,010
くぬぎ台小学校コミュニティハウス	10,349
帷子小学校コミュニティハウス	2,091

資料：保土ヶ谷区地域振興課

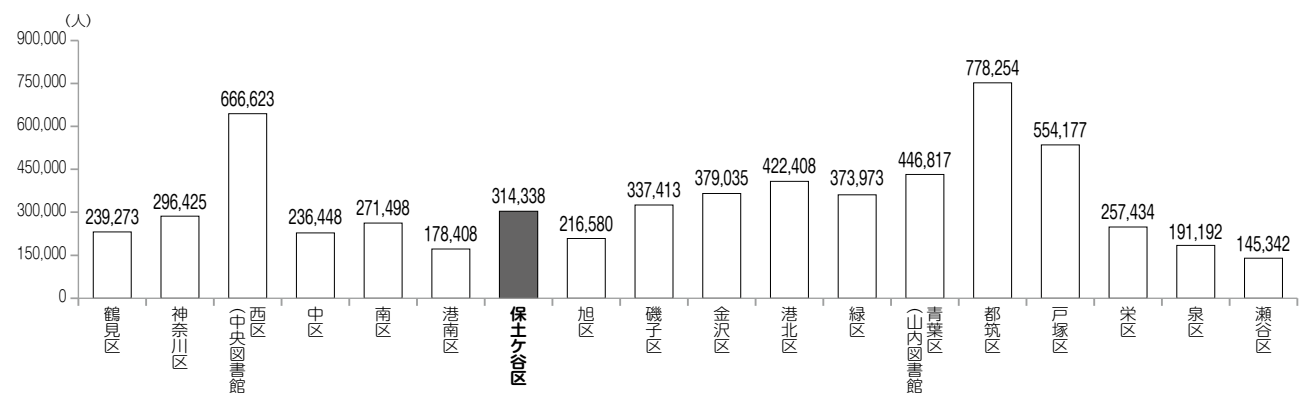
○保土ヶ谷図書館の利用状況等の推移



※貸出冊数は、貸出延長による貸出冊数を含みます。
 ※蔵書数は、個人貸出用・団体貸出用の合計です。
 ※令和2年3月2日から4月10日まで、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、閲覧フロアへの立ち入りを中止しました。
 ※令和2年4月11日から5月26日まで、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館を実施しました。

資料：横浜国立図書館年報(2025)

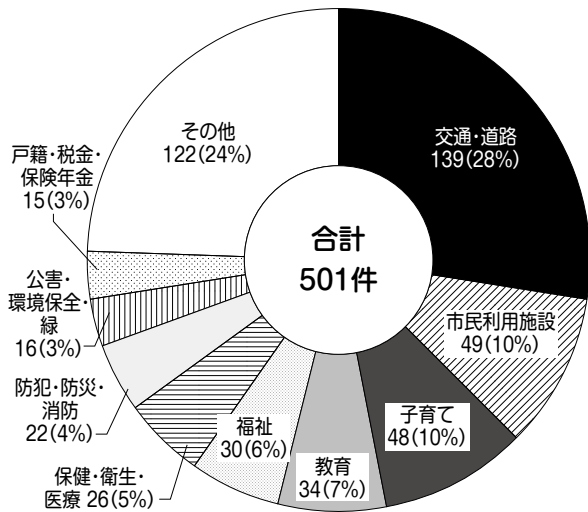
○図書館の年間入館者数(区別)(令和6年度)



資料：横浜国立図書館年報(2025)

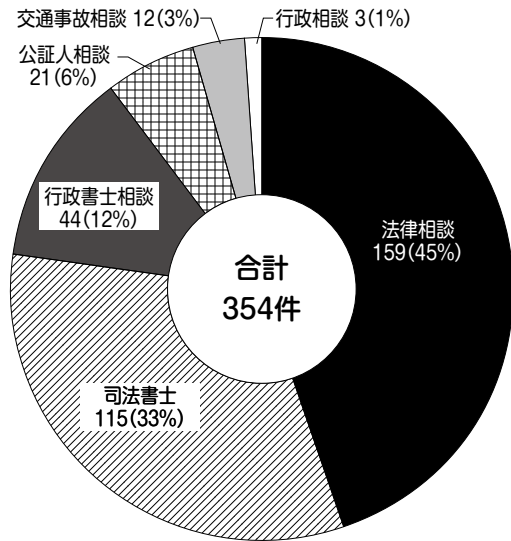
10 市・区政相談

○「市民からの提案」分野別受付件数内訳
(令和6年度)



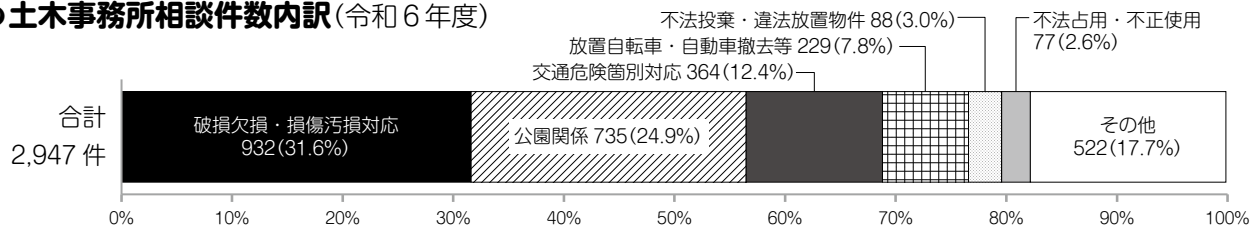
資料：保土ヶ谷区区政推進課

○特別相談件数内訳(令和6年度)



資料：保土ヶ谷区区政推進課

○土木事務所相談件数内訳(令和6年度)



資料：保土ヶ谷土木事務所

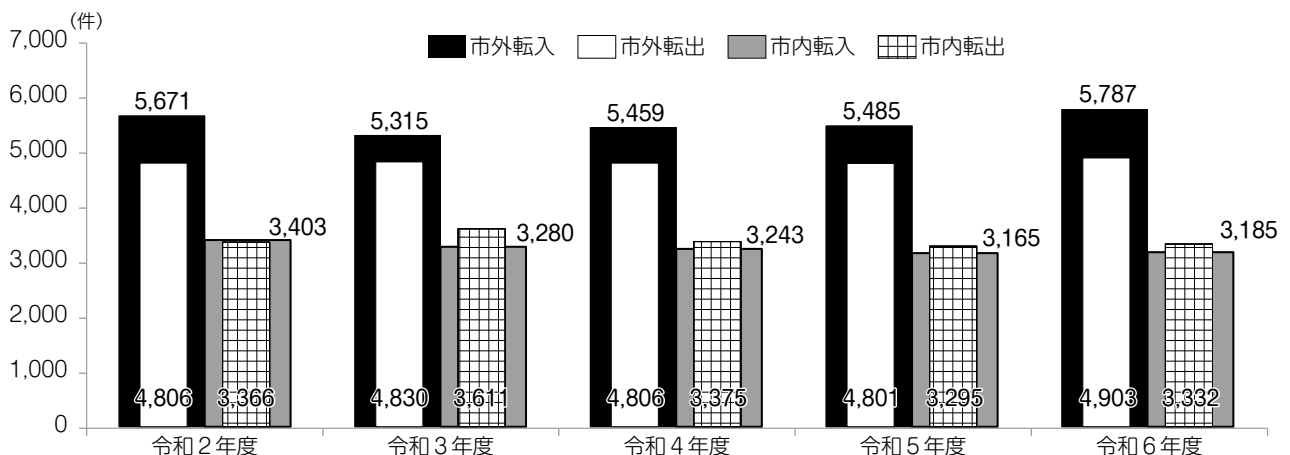
11 戸籍

○諸証明書発行状況の推移

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
戸籍謄抄本	41,495	42,458	45,938	48,159	54,173
住民票写し	64,092	58,577	53,992	49,399	41,335
印鑑登録証明書	35,712	31,071	28,338	25,662	24,096
合計	141,299	132,106	128,268	123,220	119,604

資料：保土ヶ谷区戸籍課

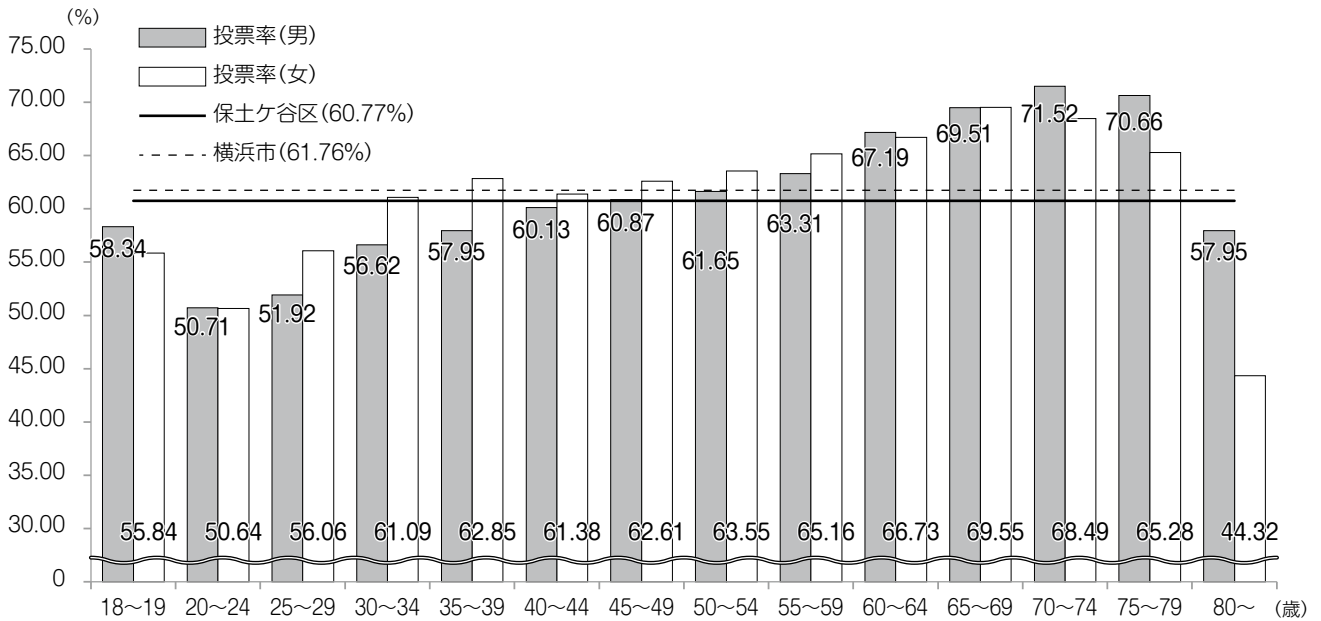
○転出入届出件数の推移



資料：保土ヶ谷区戸籍課

12 選 挙

○年代別投票率(令和7年7月20日執行 参議院議員通常選挙(選挙区))



※在外選挙人を含みません。

資料：保土ヶ谷区選挙管理委員会

○投票所別投票率(令和7年7月20日執行 参議院議員通常選挙(選挙区))

投票所	投票率(%)		
	男	女	計
1 横浜市立岩崎小学校	61.87	61.22	61.54
2 横浜市岩崎地域ケアプラザ	61.41	57.00	59.08
3 横浜市初音が丘地区センター	58.36	57.28	57.83
4 横浜市立初音が丘小学校	57.22	55.01	56.10
5 横浜市立境木小学校	64.96	61.97	63.41
6 横浜市立権太坂小学校	59.40	56.23	57.77
7 イコットハウス	66.61	64.56	65.55
8 横浜市立富士見台小学校	61.61	63.03	62.29
9 横浜市立桜台小学校	64.91	63.54	64.21
10 偕恵いわまワークス	64.16	63.02	63.58
11 横浜市立帷子小学校	65.65	60.54	62.28
12 横浜市ほどがや地区センター	60.39	60.18	60.28
13 横浜市立浅間台小学校	55.36	57.09	56.19
14 横浜市立ろう特別支援学校	60.71	57.68	59.17
15 峰沢団地集会所	65.07	62.05	63.53
16 横浜市立峯小学校	69.39	67.52	68.42
17 和田西部町内会館	60.77	58.15	59.48
18 横浜市立常盤台小学校	60.37	62.52	61.40
19 峯岡幼稚園	60.54	62.18	61.36
20 横浜市立星川小学校	62.88	62.58	62.73
21 横浜市立仏向小学校	64.37	62.78	63.57
22 コンフォール明神台集会所	68.54	63.38	65.73

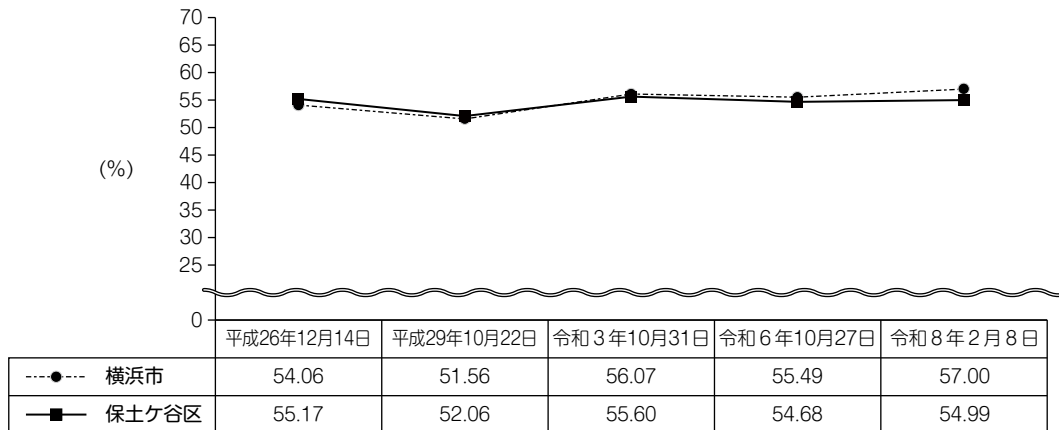
投票所	投票率(%)		
	男	女	計
23 横浜市立坂本小学校	60.46	56.69	58.54
24 横浜市立橋中学校	57.81	57.01	57.41
25 くぬぎ台小学校コミュニティハウス	54.26	53.07	53.61
26 ハイム向台団地集会所	63.69	60.06	61.78
27 川島第四町内会館	60.01	57.11	58.56
28 上星川町内会館	62.11	62.89	62.52
29 川島第五町内会館	58.73	57.74	58.24
30 横浜市西谷地区センター	62.61	60.86	61.72
31 横浜市立上菅田中学校	56.80	56.65	56.73
32 横浜市立上菅田笹の丘小学校	60.92	61.99	61.46
33 県営笹山団地集会所	50.72	54.41	52.74
34 千丸台団地第一集会所	54.43	52.66	53.48
35 ほどがや防犯センター	55.55	52.38	53.92
36 横浜市立藤塚小学校	61.92	60.38	61.12
37 横浜市立瀬戸ヶ谷小学校	63.65	63.05	63.35
38 横浜市立新井小学校	57.23	56.95	57.09
39 横浜市権太坂コミュニティハウス	65.29	64.27	64.74
40 横浜市立上菅田特別支援学校	60.56	57.52	59.03
合計	61.44	60.13	60.77

※在外選挙人を含みません。 資料：保土ヶ谷区選挙管理委員会

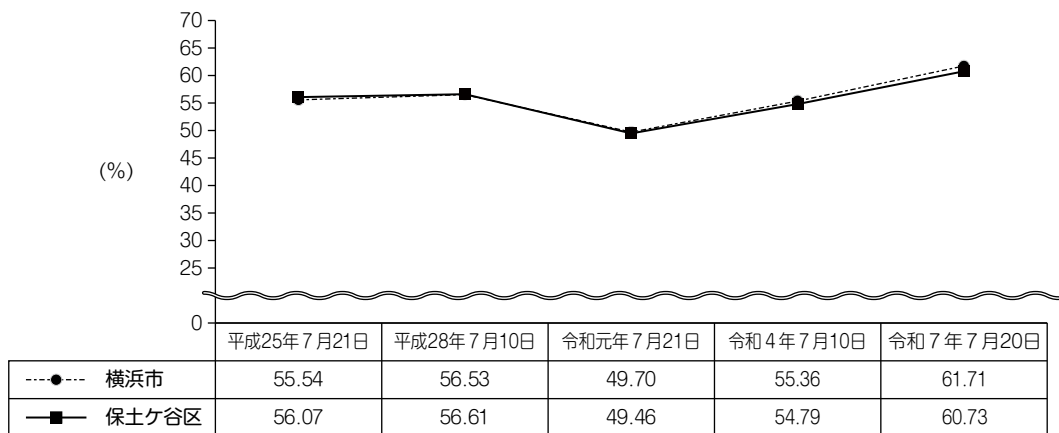
12 選 挙

○ 選挙別投票率の推移

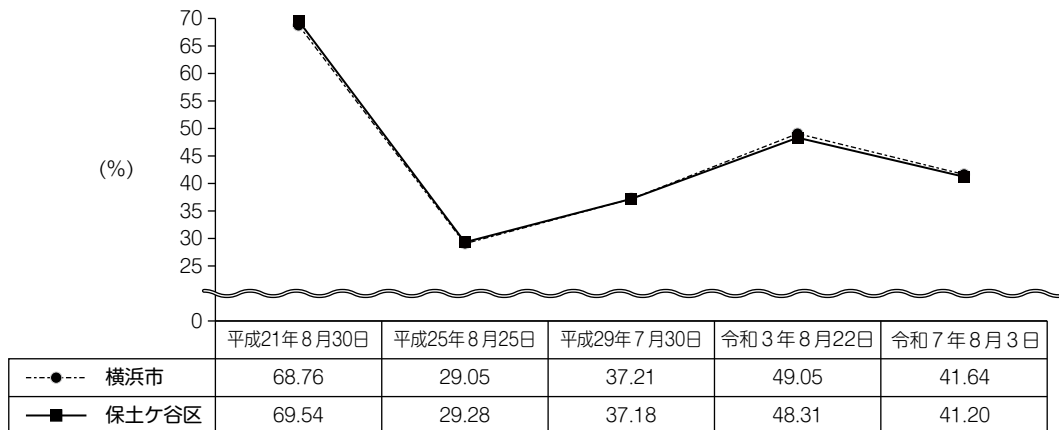
■ 衆議院選挙
〈小選挙区〉



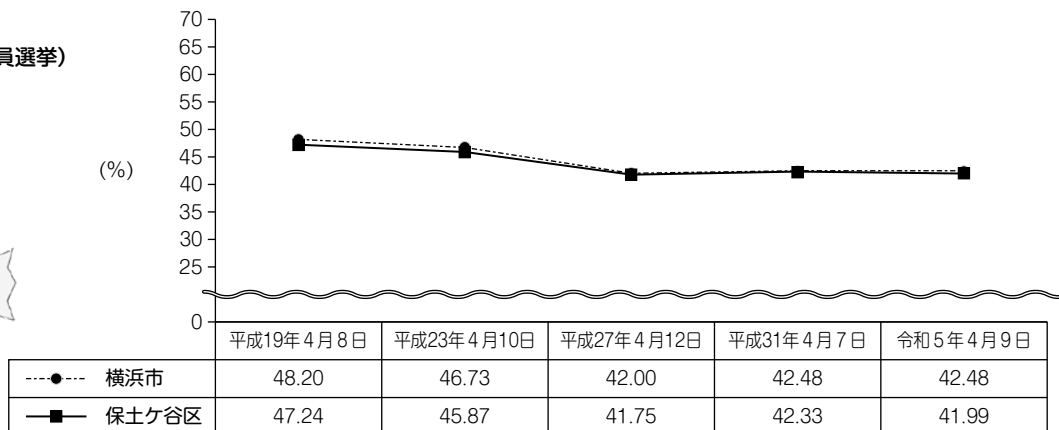
■ 参議院選挙
〈選挙区〉



■ 横浜市長選挙



■ 統一地方選挙
〈横浜市議会議員選挙〉



資料：保土ヶ谷区選挙管理委員会

13 地域社会

○地区連合町内会加入状況(令和7年4月1日現在)

名称	加入町内会数(団体)	加入世帯数(世帯)	名称	加入町内会数(団体)	加入世帯数(世帯)
保土ヶ谷地区連合自治会	13	3,174	和田・釜台地区連合町内会	5	2,657
保土ヶ谷南部地区連合自治会	6	2,227	上星川地区連合町内会	2	900
保土ヶ谷中部地区連合自治会	4	2,008	常盤台地区連合町内会	10	2,605
保土ヶ谷東部地区連合自治会	20	7,475	川島東部連合町内会	6	2,755
保土ヶ谷西部連合自治会	12	2,574	仏向地区連合町内会	7	4,826
新桜ヶ丘地区連合自治会	5	2,149	川島原地区連合会	9	1,948
権太坂境木地区連合自治会	8	2,645	西谷連合町会	8	3,017
岩井町原連合町内会	5	1,549	上新地区連合自治会	2	1,740
岩間地区連合町内会	17	6,098	上菅田地区連合自治会	11	3,302
中央連合町内会	16	6,268	地区連合未加入団体	17	5,636
中央東部地区連合町内会	10	3,605	合計	193	69,158

資料：保土ヶ谷区地域振興課

14 防災

地域防災拠点(指定避難所)及び広域避難場所一覧

※地域防災拠点(指定避難所)とは

家屋の倒壊などにより自宅で生活できなくなった場合の避難所として、区内27か所の小・中学校等をあらかじめ指定しています。避難者が一時的に生活するための最低限の食料・水や救助活動に必要な資機材などを備蓄しています。

※広域避難場所とは

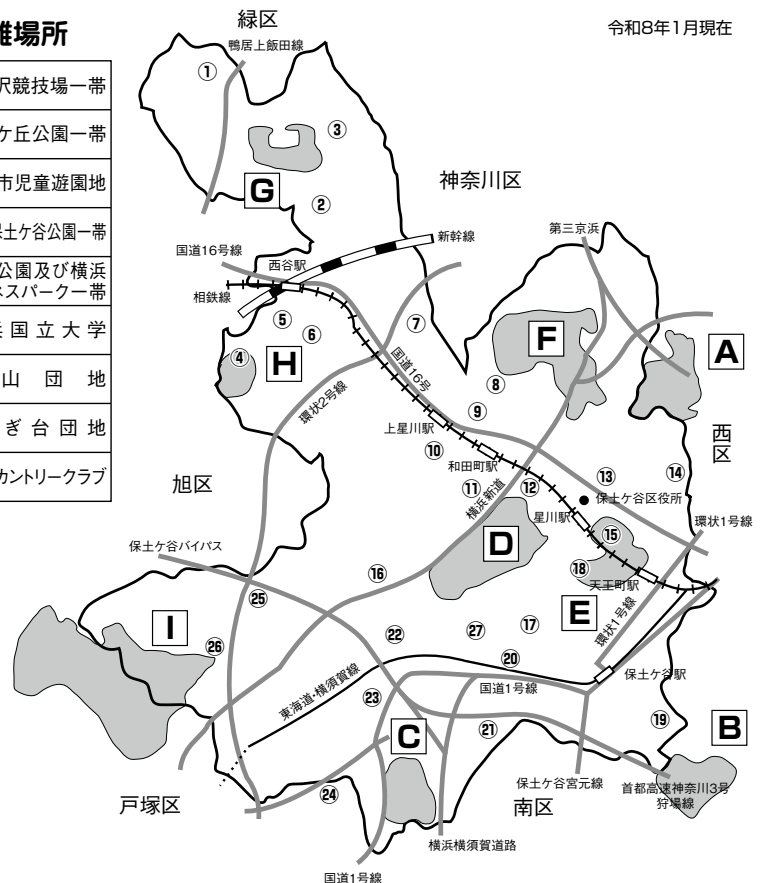
地震による火災が多発し延焼拡大した場合、熱や煙から生命・身体を守るため一時的に避難する場所です。

地域防災拠点(指定避難所)

番号	学校	住所
①	新井小学校	上菅田町1574-1
②	上菅田笹の丘小学校	上菅田町134-1
③	上菅田中学校	上菅田町780
④	旧くぬぎ台小学校	川島町1374-1
⑤	西谷中学校	川島町1208
⑥	川島小学校	川島町1162
⑦	上星川小学校	上星川2-51-1
⑧	常盤台小学校	釜台町22-1
⑨	保土ヶ谷中学校	釜台町3-1
⑩	坂本小学校	坂本町6
⑪	仏向小学校	仏向町845
⑫	星川小学校	星川3-18-1
⑬	峯小学校	峰岡町1-10
⑭	宮田中学校	宮田町1-100
⑮	帷子小学校	川辺町65-1
⑯	橘中学校	仏向町1167-2
⑰	桜台小学校	桜ヶ丘1-13-1
⑱	保土ヶ谷小学校	神戸町129-4
⑲	富士見台小学校	岩井町307
⑳	岩崎小学校	岩崎町22-1
㉑	瀬戸ヶ谷小学校	瀬戸ヶ谷町243
㉒	初音が丘小学校	藤塚町1-1
㉓	権太坂小学校	権太坂2-4-1
㉔	境木小学校	戸塚区平戸3-48-1
㉕	藤塚小学校	新桜ヶ丘1-22-1
㉖	今井小学校	今井町981-1
㉗	岩崎中学校	桜ヶ丘2-6-1

広域避難場所

A	三ツ沢競技場一帯
B	清水ヶ丘公園一帯
C	横浜市児童遊園地
D	県立保土ヶ谷公園一帯
E	川辺公園及び横浜ビジネスパーク一帯
F	横浜国立大学
G	笹山団地
H	くぬぎ台団地
I	横浜カントリークラブ



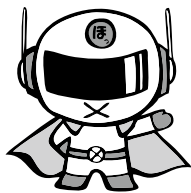
区の出来事&世の中の動き

西暦	年号	区の出来事	世の中の動き
901～931	延喜～延長のころ	平安時代中期に作られた辞書「和名抄」に久良郡星川郷、都筑郡幡屋郷などの郷名がある。	「古今和歌集」ができる。905年(延喜5)
1480	文明12	太田道灌の歌日記「平安紀行」に「帷子」の地名がある。	応仁の乱が起こり戦国時代始まる。1467年(応仁元)～1477年(文明9)
1559	永禄2	小田原北条氏の所領の記録「小田原衆所領役帳」に、星川、仏向、保土ヶ谷、川島、今井の地名がある。	川中島の戦い。1553年(天正22)～1564年(永禄7)
1601	慶長6	東海道に宿駅の制度が定められ、保土ヶ谷宿が幕府の公認の宿場となり、本陣、問屋場が置かれた。	桶狭間の戦い。1560年(永禄3) 関ヶ原の戦い。1600年(慶長5)
1648	慶安元	新道(現在の旧東海道)ができ、宿場が移った。	江戸時代に入る。1603年(慶長8)
1663	寛文3	保土ヶ谷宿が大火、500棟が消失した。	由井正雪の乱(慶安事件)。1651年(慶安4)
1831	天保2頃	葛飾北斎が「富嶽三十六景」のうち「境木」を作成した。	天保の大飢饉。1833年(天保4)～1839年(天保10)
1834	天保5頃	安藤広重が「東海道五十三次」のうち「帷子橋」を作成した。	大塩平八郎の乱。1837年(天保8)
1854	安政元年	吉田松陰が保土ヶ谷宿に来宿した。	日米和親条約を結ぶ。 日米修好通商条約を結ぶ。1858年(安政2)
1859	安政6	横浜が開港される。横浜町(5か町)ができる。	生麦事件が起きる。1862年(文久2)
1870	明治3	本陣、問屋場が禁止された。	都を東京に移す。1869年(明治2)
1871	明治4	保土ヶ谷郵便取扱所が設置された。	廃藩置県。 郵便制度ができる。
1884	明治17	保土ヶ谷～戸塚間の新道が完成した。	内閣制度ができ、伊藤博文が初代内閣総理大臣になる。1885年(明治18)
1887	明治20	東海道線ヶ谷駅が完成した。	東京に電灯がつく。
1889	明治22	横浜市が誕生した。(人口116,193人 面積5.40km ²)	大日本帝国憲法が公布される。 東海道線が全線開通する。
1909	明治42	横浜市章、市歌が制定される。	第一次世界大戦が起こる。1914年(大正3)
1915	大正4	西谷浄水場が竣工した。	関東大震災が発生する。1923年(大正12)
1927	昭和2	保土ヶ谷町と西谷村が横浜市に編入された。(4月1日) 保土ヶ谷区が誕生(10月1日) 人口38,118人(12月末)	
1929	昭和4	横浜市児童遊園地が開園した。	アメリカの不景気が世界に広がり、世界大恐慌となる。
1933	昭和8	神中鉄道(現在の相模鉄道)が横浜駅へ乗り入れ、厚木～横浜駅間が開通した。	満州事変が起こる。1931年(昭和6)
1945	昭和20	市街地が空襲を受け、3,200戸が消失した。	第二次世界大戦が始まる。1939年(昭和14) 太平洋戦争が起こる。1941年(昭和16)
1949	昭和24	県営保土ヶ谷球場が開場し、巨人対東急の試合が行われた。	戦争終結 野毛、反町で日本貿易博覧会が開催される。 湯川秀樹がノーベル賞を受賞。 サンフランシスコ平和条約を結ぶ。1951年(昭和26)
			日米安全保障条約を結ぶ。1951年(昭和26)
1956	昭和31	区の人口が10万人を超えた。	日ソ共同宣言。ソビエト連邦との国交回復。 国際連合に加入する。 横浜市が政令指定都市となる。
1957	昭和32	県立保土ヶ谷公園が、県内初めての総合運動公園として完成した。	
1959	昭和34	横浜新道が開通した。	
1960	昭和35		日米安全保障条約延長、安保反対闘争起こる。

西暦	年号	区の出来事	世の中の動き
1964	昭和39	区の人口が20万人を超えた。	東海道新幹線が開通する。
1969	昭和44	10区が14区に再編され、保土ヶ谷区から旭区が分区した。 分区前人口 283,649人(9月1日) 分区後人口 161,968人(10月1日)	東京オリンピックが開催される。 横浜市人口が200万人を突破(全国3位) 小笠原諸島が日本に復帰1968年(昭和43) 日本万国博覧会が開催される。1970年(昭和45)
1974	昭和49	保土ヶ谷バイパスが開通した。	横浜で第2回アジア卓球選手権大会が開催される。
1977	昭和52	区のシンボルマークを制定した。	横浜市人口が250万人を突破。 沖縄諸島が日本に復帰する。1972年(昭和47) 沖縄海洋博覧会が開催される。1975年(昭和50) ロッキード事件が起きる。1976年(昭和51)
1980	昭和55	狩場町に環境事業局保土ヶ谷工場が完成した。 保土ヶ谷プールと老人福祉センター狩場緑風荘が開館した。	
1982	昭和57	保土ヶ谷公会堂・保土ヶ谷図書館が開館した。	
1987	昭和62	横浜水道記念館が開館した。	横浜市人口が300万人を突破。1985年(昭和60) 筑波万国博覧会が開催される。1985年(昭和60) 日航ジャンボ機墜落事故が起こる。1985年(昭和60)
1989	平成元年	「初音が丘地区センター」開館 「保土ヶ谷スポーツセンター」開館 市制100周年：「区の花(すみれ)」、「区の鳥(カルガモ)」制定	消費税が施行される。 横浜市政100周年・開港130周年を迎え、横浜博覧会がみなとみらい21地区で開催される。
1990	平成2	横浜ビジネスパーク第1期工事分が完成 「瀬戸ヶ谷スポーツ会館」開館 高速神奈川3号狩場線が開通	
1991	平成3	「横浜市岩間市民プラザ」開館。同時に偕恵いわまワークス・保土ヶ谷区国際交流コーナー開設。	湾岸戦争が勃発する。
1992	平成4	県立保土ヶ谷公園内に「かながわアートホール」開館。 「区の色(ほ도가やグリーン)」を制定 「上菅田地域ケアプラザ」開設 「川島町公園こどもログハウス」開所	
1993	平成5	集中豪雨により、今井川、帷子川氾濫	
1994	平成6	今井川、帷子川に「河川水位警報サイレン」設置 「川辺公園親水護岸」完成	
1995	平成7	横浜新道「藤塚インターチェンジ」開通	阪神淡路大震災が起きる。
1996	平成8	「岩崎地域ケアプラザ」開設 保土ヶ谷宿400倶楽部が地域づくり団体自治大臣表彰受賞	
1997	平成9	区制70周年：「ふれあいせせらぎのみち」開園	
1998	平成10	環状2号線が暫定開通 星川一里塚公園、岩崎町第3公園開園 「ほ도가や花憲章」制定	長野オリンピックが開催される。
1999	平成11	「今井地区センター」・「今井地域ケアプラザ」が開館した。 桜ヶ丘コミュニティハウス、保土ヶ谷区福祉保健活動拠点、保土ヶ谷区生涯学習支援センター開設	
2000	平成12	分区以来はじめて人口が20万人に。	アメリカ同時多発テロ事件が起きる。
2001	平成13	「横浜市西部地域療育センター」開設	
2002	平成14	横浜新道「今井・川上インターチェンジ」完成	横浜市人口が350万人を突破。 サッカーワールドカップが日韓共催で開催され、横浜で決勝戦が行われる。

西暦	年号	区の出来事	世の中の動き
2003	平成15	複合施設「かるがも」開館 旧保土ヶ谷小学校跡地暫定利用開始(イコットハウス・イコット広場)	イラク戦争が勃発する。
2004	平成16	障害地域活動ホーム「ゆめ」開設	新潟県中越地震が起きる。
2005	平成17	「くぬぎ台小学校コミュニティハウス」開設 防犯ステーション2か所設置(今井町・新井町) 空き店舗を利用した多目的防犯拠点「千丸台ふれあい館」開設	愛知万国博覧会が開催される。
2006	平成18	「保土ヶ谷ビオガーデン」開園 「ほどがや市民活動センター(アワーズ)」開設 「仏向地域ケアプラザ」、「ほどがや防犯センター」開設	
2007	平成19	地域子育て支援拠点「こっころⅠ、Ⅱ」開設 「権太坂小学校コミュニティハウス」開設 区制80周年：「区の歌(わがまち、保土ヶ谷)」、 「区の木(シノキ、ハナモモ)」制定	新潟中越沖地震が起きる。
2008	平成20	ブルガリアの首都ソフィア市とパートナー都市協定締結、保土ヶ谷区の高校生が交流 「まちかど博物館」オープン 「今井川プロムナード」開通	アメリカ発の世界的金融危機広まる。
2009	平成21	「常盤台ケアプラザ、常盤台コミュニティハウス」オープン	横浜開港150周年を迎える。“開国博Y+150”
2010	平成22	重度身体障害者生活支援施設「たっち ほどがや」開所 仏向町の一部で住居表示を実施し、「仏向西」設置	A P E C 横浜開催
2011	平成23	「たちばなの丘公園」保土ヶ谷区側オープン 「川島地域ケアプラザ」開設	東日本大震災が起きる。
2013	平成25	国立大学法人横浜国立大学と連携協力協定を締結 横浜市初の協働契約が「ほどがや 人・まち・文化振興会」と締結され、市民協働事業として実施	横浜市人口が370万人を突破。 富士山が世界遺産に登録される。
2014	平成26	「星川中央公園多目的広場」オープン	
2015	平成27	ほどがや区の歌音頭制作披露	戦後70年をむかえる。
2016	平成28	区民会議と協働契約を締結	熊本地震が起きる。
2017	平成29	相模鉄道星川駅・和田町駅間高架橋(下り線)開通 区制90周年	
2018	平成30	「ほどがや花憲章」制定20周年 ブルガリア共和国(ソフィア市)とのパートナー都市協定10周年、駐日ブルガリア共和国大使館の参事官が「ほどがや花フェスタ2018」を表敬訪問 相模鉄道星川駅・天王町駅間高架橋(上り線)開通	大阪府北部地震が起きる。 北海道胆振東部地震が起きる。
2019	平成31 令和元年	保土ヶ谷区内に練習場を構える横浜FC 13年ぶりにJ1昇格 相鉄・JR直通線開通	天皇陛下即位 令和に改元 ラグビーワールドカップ2019日本大会開幕 日本8強 横浜で決勝戦が行われる。
2020	令和2年	保土ヶ谷区の良さを伝える「ほどがやアラカルト」を開催	新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令される。
2021	令和3年	保土ヶ谷スポーツセンターにて新型コロナウイルスのワクチン接種を実施	東京2020オリンピック・パラリンピックが開催される。
2022	令和4年	星川駅駅前広場が開業	ロシアによるウクライナ侵攻開始
2023	令和5年	相鉄・東急直通線開通 「保土ヶ谷地域ケアプラザ」、地域子育て支援拠点「こっころサテライト」開設	新型コロナウイルス感染症の感染法上の分類が「5類」へ移行
2024	令和6年	保土ヶ谷区制100周年事業実行委員会が設立	能登半島地震が起きる。 横浜DeNAベイスターズが26年ぶりに優勝
2025	令和7年	保土ヶ谷区公式マスコットキャラクターの名前が「ほどぴー」に決定	TICAD 横浜開催

いろいろな統計調査



これまでご紹介したデータは区民のみなさんや事業所のご協力による調査結果が多く含まれています。統計調査のデータは、国や県、市区町村の施策の基礎資料として欠くことの出来ないデータです。
区民のみなさん、事業所のみなさん、統計調査にご協力をお願いします。

国勢調査【5年ごと 全数調査】

項目：人口、世帯、配偶関係、就業状態など

〈活用事例〉

- 衆議院の小選挙区の改定 ○地方交付税の算出
- 少子高齢化対策 ○防災計画の策定や被害予測
- 都市交通計画の策定 ○将来人口、世帯数の推計

住宅・土地統計調査【5年ごと 抽出調査】

項目：世帯の構成、年間収入、
住宅の所有関係、床及び敷地面積、構造、
階数、現住居に入居した時期、
空き家、建物の腐朽・破損の有無など

〈活用事例〉

- 住生活基本計画や土地利用計画の策定
- 防災を中心とした都市計画の策定 ○空き家対策

就業構造基本調査【5年ごと 抽出調査】

項目：有業者の従業上の地位、就業形態、年間収入、
無業者の就業希望の有無、求職期間、
育児・介護の状況など

〈活用事例〉

- 職業能力開発計画の策定 ○雇用対策
- 国民経済計算の算出

全国家計構造調査【5年ごと 抽出調査】

項目：家計の収入と支出、年間収入、貯蓄や負債、
就業・就学状況、現住居の状況など

〈活用事例〉

- 年金額や介護保険料の算定基準の検討
- 生活保護の扶助額基準の検討
- 所得格差の集計(OECDの基準による)

経済センサス

- 基礎調査（甲調査 / 乙調査）

【甲調査：5年ごと
乙調査：毎年（活動調査実施年を除く）】

- 活動調査【5年ごと】

項目：経営組織、従業者数、主な事業内容、
資本金等の額、売上金額など

〈活用事例〉

- 地方消費税の清算 ○各種地域活性化政策の策定
- 経済指標(GDPなど)の算出
- (民間において)新規店舗出店計画の策定
- ※基礎調査は、新設事業所の把握等、母集団情報の整備を目的としています。

経済構造実態調査

【毎年（経済センサス-活動調査実施年を除く）】

項目：〈産業横断調査〉（全ての産業）
経営組織、売上金額、主な事業内容など
〈製造業事業所調査〉（製造業）
原材料や燃料等の使用額、製造品出荷額など
※経済センサス-活動調査の中間年における経済構造
の把握を目的としています。

農林業センサス【5年ごと】

項目：労働力、経営耕地面積、保有山林面積、
農産物及び林産物の販売金額など

〈活用事例〉

- 農業経営所得安定対策 ○地域資源の保全管理
- 植物防疫法に基づく事業の策定

学校基本調査【毎年】

項目：学校数、在学者数、教職員数、学校施設など

〈活用事例〉

- 学校教育行政上の基礎資料

【横浜市統計情報ポータルのご案内】

横浜市全体の統計情報のほか、各区別統計情報なども掲載されています。

横浜市ホームページ>市の情報・計画>横浜市について>統計・調査>統計情報ポータル

URL：<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/tokei-chosa/portal/>



発行：令和8年3月

発行者：横浜市保土ヶ谷区総務課

住所：〒240-0001 横浜市保土ヶ谷区川辺町2-9

TEL:045(334)6206/FAX:045(334)6390

印刷：株式会社 Yuki Print



Instagram 保土ヶ谷区公式インスタグラムアカウント
@hodogaya_official



保土ヶ谷を、知る。💡

当アカウントでは保土ヶ谷の魅力的なシーンを
随時発信しています。



#星点qlay



#区の鳥カルガモ



#星川駅前



#松並木プロムナード



#興福寺松原商店街



#権太坂



#横浜ビジネスパーク



#保土ヶ谷公園

保土ヶ谷を、撮る。📷

ハッシュタグ#フォトガヤを付けて写真を投稿し、
あなたから見た保土ヶ谷の“好き”を共有してください！
あなたの投稿が当アカウントで紹介されるかも…？

表紙について

表紙の地図は令和7年9月末時点における各町別の年少人口（0～14歳）の割合を示しています。色が濃くなるほどその町の年少人口の割合が高いことを示しています。

詳細は10ページに掲載されていますのでご覧ください。